

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学（旧約聖書）	1	前期	必修	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の土台となる聖書理解が目的である。前期の授業では、通常、旧約聖書の基礎を体験的に習得できるよう、聖書を自ら開き声に出して輪読すること、紙芝居や絵本の読み聞かせ、DVD鑑賞、ディスカッションなどを取り入れるが、すべて遠隔授業であったため、実施できない部分もあった。遠隔授業となったため、毎年行なっている教会訪問は中止となったが、毎週のチャペルポートフォリオや、ミッションデーのレポートなどを評価に取り入れ、授業外でもキリスト教に触れる体験の機会を促した。毎回の授業の最後に記入するポートフォリオにおいて、その日の学びの確認を行った他、遠隔チャペルについてもチャペルポートフォリオを作成し、積極的なチャペル参加とメッセージを聞く姿勢を促した。 今後は、さらに建学の精神に日常的に触れていく機会、聖書を読む機会を予習・復習などに取り入れる工夫を行いたい。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては4.3ポイントであった。事象を理解する視点や考え方取得は4.3ポイント、自分なりの目標達成は4.0ポイントであった。また、他の到達度自己評価も平均4.0ポイントであった。トータルの成績の平均値は約80%以上、遠隔チャペルのポートフォリオ提出率は90%以上であった。以上により、「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の世界観を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。 キリスト教学(旧約聖書)はキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学（新約聖書）の中で、前期で学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかであるため、キリスト教に全く興味の無い学生も受講しているため、動機付けに工夫が必要であるが、総合的に全体として一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、行動目標に沿い、学問としての旧約聖書の講義による学びの他、遠隔チャペルの視聴を評価に組み入れ、授業内で学ぶ事の出来ないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的には妥当であったと考える。 自由記述には、「今までキリスト教について学ぶことがなかったので、遠い存在だと思っていました。しかし、この授業を通して違う文化の魅力や旧約聖書がどんなものなのか、学び発見することができました。」との回答があり、今後も引き続き、慣れない聖書の学びへの導入として、多様な教材に触れ視野を広げながら、学生の生活に結びつける視点を大切にしたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	遠隔においても、Google Classroomを活用し「チャペルポートフォリオ」を導入して、チャペルと本講義とのリンクを行なった。毎回90%以上の提出があり、学生のチャペル参加の意欲など、全体像をつかむことが出来た。 本講義は、興味の無い学生にも興味をもってもらうことが重要であるため、わかりやすい説明を心がけた。授業の質評価に関しては(1)評価基準については4.6、(2)課題については4.6、(3)「説明は理解しやすいものだった」は4.3、授業の質評価の平均値は4.2ポイントであった。 「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が3.3、(5)学生の質問については4.1ポイントであったが、これは来年度対面授業に戻り次第、アクティブラーニングの手法を再開し、学生一人一人についてより把握する取り組みをする予定である。また、情報の利用に関しても、調べ学習を再開する予定である。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるため、学期始めにキリスト教に関心や興味の無い学生たちにも主体的に学習してもらうための工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけでなく、学生が興味を抱いたテーマについて取り上げてディスカッションを行うことや、絵本・紙芝居の読み聞かせを学生自らが実践することなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促しているが、今学期はすべて遠隔であったため例年のようにはいかなかった。 授業の最後に記入して振り返りを行うポートフォリオに加え、遠隔チャペルの出席を促す「チャペルポートフォリオ」を導入し、学生のチャペルへの積極的姿勢を伺う材料とした。来年度以降、対面授業が再開してからは、さらなるアクティブラーニングを検討し、キリスト教学の学びを多角的に深められるような指導をしていきたいと考えている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	浅野 嘉延 ・ 東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教と西南女学院のあゆみ	1	前期	必修	はい	41

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	科目の名称通りキリスト教に重点を置き、また、西南女学院と大学の歴史的転換点においての内部での議論やその後の方向性について講義出来る方々を厳選させていただき、講義を行った。宗教主任補佐のラス・ボーク先生は本学院についての研究者であるため、動画による3回の講義をお願いした。クラスポートフォリオ7回、及びまとめレポート30点で合計100点とし、すべてGoogle Classroom経由で回収するようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	学生の出席率は全ての講義時間において各学科で90%を超えており、出された回答は熱心にかかれ、講義の内容も十分に把握されていた。講義者により多くの画像が配信されたため、印象深い回答がほとんどであった。したがって大部分の学生の成績は優、あるいは秀であった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	CP：この科目は総合人間科学の必須科目であり、本学の寄付行為や建学の精神、また、大学の設置趣旨の最初の項目に相当し、CP上妥当であるとする。 DP：この科目の目標は①西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。②設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。③キリスト教に基づく女子教育の意義を理解し説明できる、であり、DP1-1とDP4-1に相当しており妥当と考える。 上記より、内容的妥当性に問題はないと思われる。 なお、全学科の到達度自己評価の平均値は3.8で、自由記述からも特に問題点は見られなかった。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価では、全学科で提出物の評価基準、学習範囲や課題、理解しやすさの平均は4.3であった。しかし、ネット授業のため学生参加の機会、質疑応答の機会が乏しいとの評価だった。次年度、対面授業が再開した際には、学生が発言できる機会を積極的に設けていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	昨年に引き続き本年も遠隔授業を行わざるを得なかったが、遠隔授業参加への積極性はどの学科の学生も高かった。次年度は100周年ということもあり、引き続き、本学の歴史や特色を十分に理解した上で、それぞれの専門科目に取り組み、西南女学院生としての自己形成の土台を築くことができるよう、内容を工夫したい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナーⅠ	1	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	入学したばかりの学生は分からないことだらけだということを意識して、授業では常に、学生の理解ができたかを確認するようにした。また、この機会を生かして、授業以外の大学生活で不明なことがないか確認するようにして、スムーズに大学生活が開始できるようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された	達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	全履修者が「優」以上の成績であった。また、全員の欠席や遅刻が全くなかった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学生が遅刻も欠席もすることなく半年間を過ごしたのは、学習意欲や関心が高まったからであろうと思われる。そういう意味においては、妥当であったと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	対面ではうまく授業が進んだが、オンラインでは教材の制限があるために、思いのほか授業準備に時間がかかったしまった。時間をかけた割には、オンラインが良かったという意見は少なかった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業外での課題は出して、学生はそれにきちんと応じていた。しかし、授業アンケートを読む限り、学生が自ら進んで授業で学んだことの復習や発展学習をしたようには思われない。次回は、それができるように授業を組み立てていきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初年次セミナーⅠ	1	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1.初年次セミナーⅠは高等学校教育から大学教育への円滑な移行を図るための教育として位置づけ、まず大学での学習方法を理解してもらう。大学での学習には不可欠な要素である「読む」「書く」「話す」「考える」「文献を探す」のアカデミックスキルの基礎を修得することを目指す。 2. 授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った、学習者の関心事を新たに加えた。 3. 「知へのステップ」教材に沿って授業を進めてきたが、毎回新聞記事を中心に発表練習し、社会への関心度を高めてもらうためである。さらに「女性の品格」という本を学習したことによって、学生を主体的に司会、発表、自主性を引き付けるようにしてきている。 4. 学生全員に毎回レジュメ感想文を書かせたりする学習意識及び方法を高めるようにしてきた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された	達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値89点であり、再試対象は0名であった。一名出席の状況により、試験を受けることができなかった以外に、全員が理想的なレベル達したのである。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置付けについて、マップ上の位置づけから見て、総合人間科学の基礎科目であり、次の学科の専門演習科目、卒業研究を繋ぐ要の位置にある。内容的に妥当であるとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置付けについて、マップ上の位置づけから見て、総合人間科学の基礎科目であり、次の学科の専門演習科目、卒業研究を繋ぐ要の位置にある。内容的に妥当であるとする。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	初年次セミナーⅠは基礎的知識の形成、学習の方法については、概ね達成できたが、2年までアドバイザーとして常に連絡し、指導を引き続けていく必要がある

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナーⅠ	1	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機をみると「必修科目である」100%となっており、履修者が「初年次セミナーⅠ」では、何を学ぶかについて、よく理解できていることが分かる。履修者のニーズに合わせて、良い教育をすることができるように工夫したい。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された	達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は92.3点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解と意欲関心及び態度に関しては、それぞれ100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心、態度の観点での自己評価に差がないことが示された。 図書館やインターネットの利用に関しては、それぞれ50%、83.3%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心、態度に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「初年次セミナーⅠ」であるが、「専門演習科目」と「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、各項目については、評価が良かった。特に「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」こと、「説明は理解しやすいものであった」こと、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」ことに関しては、それぞれ100%であり、評価は良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作りたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「専門演習科目」と「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、意欲関心、態度の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナーⅠ	1	前期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	今年度1年生については、遠隔・対面のハイブリッドで展開した。授業構成としては、大学・学科オリエンテーション、在学生（担当教員ゼミ生）による授業・学生生活オリエンテーション（留学・研修含む）、そして社会人基礎力の養成の3つのセッションで展開した。学生には、授業毎に感想・疑問に思ったこと・質問などを期したコメントカードを提出させ、担当教員が回答した。また、オンライン上ではあるが、ゲーム性を取り入れた学習内容や上級生とのディスカッションの機会を設けるなど、コミュニケーション構築にも力を入れながら大学での学習に対する興味関心の低下を防ぐ努力をした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された	達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	アンケート結果の到達自己評価、遠隔授業の積極性から上記の妥当性はあると考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	アンケート結果の到達自己評価、遠隔授業の積極性から上記の妥当性はあると考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	今期はオンライン・対面という特殊な状況であり、しかも1年生対象ということもあり、対面授業と比した時、その妥当性は検討する必要があるが、初めてのオンライン授業ではあったがアンケート内容から目的は達成できたと思われる。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	今後も遠隔・対面のハイブリッド授業の可能性もあるが今期の達成、反省点の再検証を継続的に行う必要はあると思われる。遠隔授業の課題は多人数授業時の学生の反応の読み取り、ディスカッション方法など課題があると思われる。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナーⅠ	1	前期	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、新入生を対象として大学での授業の受け方、学習の取り組み方などを学ぶことから、この点を入学時にできるだけ丁寧に、かつわかりやすく説明していく必要がある。大学での学習は自ら主体的に取り組まなければならないこと、また、高校までの学習と異なり、必ずしも正解が用意されているとは限らないことを繰り返し説明していくことで、大学での学習に慣れて頂けるように工夫している。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	達成された		やや達成された	やや達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	DP項目において、DP1は4.1と比較的高いものの、DP3、DP4については3.7～4.0をマークしていることが根拠として挙げられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は必修科目であり、大学での学習の取り組み方、図書館等での情報収集の方法やレポート作成方法などを学ぶことから内容的には妥当であると考えている。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においてほぼ4.0以上の評価を達成しているため、本科目が大学での学習の導入科目としての位置づけとしての役割を全うできたのではないかと考えている。ただし、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目については平均点が3.9と若干低いため、今後はテキストの見直しや、学生が意見を述べる機会を増やすなど、次年度に向け検討したいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	今年度授業で取り扱ったテキストが学生にとってやや難易度の高いものであったと想定されるので、次年度はテキストの選定を中心に授業の改善をしていきたい。また、学生に発表する機会を設けるなどを通じて大学での学びに対する理解を深めていく工夫が必要であると考えている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
運動と健康	1	前期	必修	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	「健康、運動、栄養、生活習慣、人体生理学、運動生理学、運動関連代謝系」の基礎知識の理解と把握に重点を置いた。授業評価では、本科目受講の理由は必修科目であるためが75.0%と多い。しかし、この科目に関心があると答えた学生が17.6%と低かった。近年、健康に関する情報はメディアを通して日常的だが断片的に触れている。まず、ダイエットや体作りに関心事項として取り上げ、さらに、出欠確認アンケートの中で収集した、受講者の健康に関する基礎知識や関心からトピックスを講義に折り込み、他者を含めた自己の健康管理のための興味と必要な知識を理解できるよう授業計画を構成した。また、授業計画では教科書等の予習復習範囲を明示し、教科書の内容を数回読み込ませ記憶を促した。 出欠確認アンケートでは、受講内容のまとめと質問を設け、学生の理解度と注意力を確認した。その結果、授業毎に講義内容を理解しようという姿勢が向上したと思われた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は79.2±12.6点で、再試対象は3名であった。 全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達したものは22名（61%）であった。 目標達成できたと答えた総数は34人中33名で高値を示した。 「自己達成度」は平均値が全項目で3.0～4.0の間(中央値)にあり、「授業の質の評価」も4.0～5.0であった。「コミュニケーション力・表現力の獲得」は7名（21%）が不足を感じており、コロナ禍の影響と思われる。 予習、復習の課題が少なく、授業以外での取り組みは25人(34名中)と半数以上であった。 シラバスの情報を参考にした者19名と、コロナ禍では理解不十分な場合にシラバスから情報を得ようとしていると思われる。 欠席する者は少なく全員が積極的に受講していたが、今後、より真の関心を高めるような方法を考えたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布やアンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。 自由記述では、概ね分かりやすい授業だったという意見が多く授業進行は良かったと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性について 本科目は「総合人間科学科目」であるが、自己の健康管理及び学生生活においても必須の基本的知識である。また、生活信念、健康志向、美容的自己管理においても大きく関わりのある科目内容である。学生が一定の成績を収めていたことから、内容的には妥当な内容であったと考える。 ②DP, 行動目標からみての内容的妥当性について 成績評価から、内容的妥当性は十分あったと思われる。興味が高まれば、もう少し深く進める事も出来ると考える。 ③受講動機で内容に関心がある学生よりも、単位獲得目的の学生の方が多く、「受講動機」が曖昧な学生も多い中、「学習到達度の自己評価」は60名（60人中）が達成できたと考えており、本科目が妥当な内容であったと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質の評価において、予習を全くしなかった者が19名（34名中）であった。 毎回授業の復習、興味関心をアンケートしたことがこのような結果に結びついていれば幸いである。 シラバスを参考にしなかった者が15名（34名中）、授業計画を立てなかった者が13名であた。 オリエンテーションでの説明をしっかりとる必要がある。 次年度に向けて、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、小テストの出題要点を事前に提示し、その内容を検討して授業に参加するよう促したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	健康管理、健康づくりの基礎的知識の形成は概ね達成できた。 授業過程を振り返ってみたとき、予習課題の提示などで改善を図りたい。 以上から、毎回のねらいを具体的に示すこと、可能な限り単元毎のまとめの時間をとるか、復習課題を意識的に提示するようにすることをくわえていきたい。 授業評価から、学生の意見を取り入れ、来年度に改善を加えていきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
チームスポーツ	1	前期	選択	はい	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	前期の授業は5回目まで、対面で行うことができたので、学期の開始講義で、体力測定および体組成（体脂肪量等）の測定を行ない、運動量と身体組成や健康度との関係、運動効果の把握が体感できるように務めた。続いて3回の講義時間を用いて、「筋力トレーニングの方法、トレーニング機器の使い方」、「心拍数を基準とした持続性トレーニングの方法」、「ストレッチ体操の実際、ウォーミングアップとクーリングダウン」について講習を行い、授業外で、また、将来にわたり自ら運動処方できるように実施した。 6回目の授業から緊急事態宣言のため対面での実技ができなくなったため、毎回の授業で、家でできる筋トレストレッチを画面を通して動画を用いて行い、また、チームスポーツ3種目のルールの研究、トレーニング方法の調査とグループでの検討、技術向上の方法を調べ発表し、そしてグループごとに実施し、体験した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は78点（SD6）であり、再試対象は1名であった。ほぼ平均点は標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね80点以上として課題を作成）に達したものが13名（全27名）と予想以上にすくなかった。 達成度に関する自己評価では目標達成できたと思う者100%が答えた。 目標別に見ると、「知識が獲得できたと思う」、「事象理解の視点を得た」、「課題検討力を得た」、「判断力を得た」、「学習意欲が得られた」、「必要技能を得た」、「表現力の向上ができなかった者」、「職業倫理・行動規範の獲得が出来なかった者」と答えたものは全て100%であった。ただ「職業選択の参考にできなかった者」が3名おり、遠隔授業のマイナスの影響はなかった。 欠席する者は少なく、積極的に受講していたように感じた。また、教科書以外の資料をインターネットで利用、工夫したい。 意欲関心を高めるために、種目やその歴史背景なども説明して、もっと深みを増していくことも次年度にむけて検討したい。学生による授業評価では、知識理解の観点、思考判断の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。これは、学生が思考判断で何が問われているかを自覚していなかった可能性が考えられる。次年度に向けて、ループリックで示すだけでなく、各授業のはじめに示す「ねらい」の表現を工夫するようにしたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	試合毎に、試合の内容の反省、チーム員の役割の適切さ、勝つための役割などについて短時間で話し合い、チームとして記録用紙にまとめた。その繰り返しは積極的な参加態度、リーダーシップを産み出し、集団の中の自分の役割を意識するよう促した。今後、状況によっての言葉かけのタイミングを検討したい。 遠隔授業ではグループに分け、自己推薦または他者推薦リーダーを中心に、課題種目の技術向上のための体力要素とそのトレーニング方法、同時実施時間、また技術トレーニングの方法の調査、発表、グループで実践を行い、遠隔通信機能を活用でき一体感を持って自主的に運動まで行うことができた。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	試合毎に、試合の内容の反省、チーム員の役割の適切さ、勝つための役割などについて短時間で話し合い、チームとして記録用紙にまとめた。その繰り返しは積極的な参加態度、リーダーシップを産み出し、集団の中の自分の役割を意識するよう促した。今後、状況によっての言葉かけのタイミングを検討したい。 遠隔授業ではグループに分け、自己推薦または他者推薦リーダーを中心に、課題種目の技術向上のための体力要素とそのトレーニング方法、同時実施時間、また技術トレーニングの方法の調査、発表、グループで実践を行い、遠隔通信機能を活用でき一体感を持って自主的に運動まで行うことができた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業目標への達成を受講者が評価しているが、さらなる学生の積極的な参加態度を産みだし、健康作りのための授業以外の運動習慣を促し、生涯スポーツを持てるような動機付けができるようにさらに改善したい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
共生社会とジェンダー	3	前期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	ジェンダーに関しては、身近な問題でありながら意識されていない場合が多いことから、アクティブラーニングを実施するにあたって、アニメや身の上相談などの紙媒体、ネット上の映像、ニュースや映画の予告、CMなどの新しい動画を教材として準備した。学生にもその旨シラバスに記載し、身近なテーマから授業に関心を持てるようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	評価は、最終授業の中でジェンダーを原因とする格差が解消した未来の共生社会を新聞記事として表現し、これに対し当事者性のある課題をどこまで社会的解決に結びつけるかを採点の基準とした。ほとんどの学生がジェンダーを自分の問題としてとらえる力は身につけていた。授業の感想においては、現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題に関心を持ち、自分の考えを述べることのできる思考力が確認された。選択科目であり、テーマに関心の高い学生が集まったため意欲関心は高かったと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	新聞記事として表現された内容から、現代社会におけるジェンダーをめぐる問題を社会的解決が必要であること、実現するための施策などへの理解は達成できたといえる。また、思考判断や意欲関心についても達成されており、おおむね内容的妥当性は認められる。ただし、国籍、人種、障害の有無などに関わらず多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉え、女性が自立的に社会参画に関する問題を理解し、課題解決の方策を考える点は不十分な学生もいた。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	オンライン上ではあったが、アクティブラーニングとなるようブレイクアウトルームを活用し、講師と学生、学生同士で意見を交換しながらワークショップ形式で授業を進めることができた。毎回、発表する担当者を決めて、またグループで発表内容を検討するなどして、主体的な学びの場となった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	ジェンダーや共生社会という概念については、もともと知識のある学生と全く初めて接する学生に分かれていたが、最終的には基礎的な知識を身につけたものと思われる。身近な問題を社会的施策といった政治や経済と関連する理解を今後はさらに深める必要はある。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
人文学入門	1	前期	必修	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	人文学入門は総合人間科学の科目で、基礎教養を備えていく授業である。学習者に人文学とはどのような学問であるか、学ぶ意義等を理解してもらうために、特に「感恩奉仕」という本学の建学の精神に基づいて各教員がそれぞれの授業を進めて、課題を上げて取り組んだ。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は70点であり、再試対象は3名であった。全員がやや標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね80点以上として課題を作成）に達したものは6名と、まだまだ限られていた。 学生による授業評価においては、レポート、提出物等の評価基準は明らかであった。説明は理解しやすいものであった、口頭、文書などで学生の質問を受け付け、それにこたえる機会が作られていた等は到達度自己評価にあまり差がないことが示された。これは、本授業に対する期待されていたことが考えられる。次年度に各授業のはじめに示す「狙い」の表現を工夫するように心がけていきたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性本科目は総合人間科学であるが、基礎教養を繋ぐ要の位置にあり、必修である。各担当教員からの課題に応えるように受講する必要がある。学生が人間育成においては、教養を収めていることから、内容的には妥当であるとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が3, 0と低かった。事例を取り上げて検討する機会を作ったが、時間が十分にとることができなかった。復習の時間が想定より少なかったことも反省点である。次年度に向けては、第一に、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、事例を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。 学生の意見として、「授業で学んだことをほかの授業や生活に生かした」「勉強というより自分の考えを持つことがメインの授業だと思ったから」「人文学を学ぶことで身に付けられることや、それによって何に繋げることができるのか学んだ」「各講義で気になったことや関心を持ったことをインターネットで検索して記事を読んだりした」「人文学というものがどういうものなのかわかる授業でした」「人文学を様々な角度から学ぶことができて良かったです」「自分でノートを更に見やすいように纏めた」という評価であった。また、「どのように取り組めばいいのかわからなかった」「自発的に何をしたらいいのかあまりわからなかった」という戸惑われていた学生もいたのである。次年度に総合的に検討し取り組んでいきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	総合人間科学科目の基礎教養にあたる本科目の位置付けから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、思考判断の面では課題を残した。この点は各担当する教員に綿密に連絡・確認を引き続きで実行する予定である。学生からの意見を真摯に取り入れ、次年度に改善を行いたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	齋藤 朗宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
数学リテラシー	1	前期	選択	はい	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	例年通りではあるが、1年生、全学対象、かつ苦手な学生の多い数学ということであり、また、受講の動機からも、基本的には興味関心よりは単位取得を目的として受講している科目であるため、内容理解へのモチベーションを上げる必要から、テーマを身近なものにすることを特に意識した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	授業アンケートにおいては、本科目は到達度自己評価における(1)～(3)と関係が深いと考えられるが、この3カ所について、概ね「まあそうだと思う」以上の評価は得られており、やや達成されたとみられるべきであると思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は特定の学科のカリキュラムに関連すると言うよりは、全学共通の教養科目であるため位置づけは難しいが、学習到達度について概ね達成されたと評価できるため、この点についても大きな問題はないと考えている。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	PCを利用した実習を含めた授業内容である点から、オンライン授業の中でも特にオンデマンド形式との相性が良いとの判断から、昨年度に引き続いてオンデマンド形式の授業を実施し、質問等はClassroom内で受け付ける形式を取ったが、特に新入生が多いということもあり、知らない学生の中で質問するのは難しかったようで、質問、交流の機会に関して不足であった部分が見て取れた。全7回と回数の少ない授業で交流の機会を作るのは中々難しいが、最初の方の回でアイスブレイクを兼ねたグループワークの機会を作るなど検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	過去にグループワークをベースとした評価を行った結果不満が多く、個人課題に切り替えた結果、評価に関する不満がなくなったという経緯があり、あまり成績に影響を与えるグループワークを実施するのも難しいと考えられるが、成績に大きな影響を与えない範囲で部分的にグループワークを取り入れることは可能であると考えられ、そういった取り組みも検討したい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	松田 憲

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こころと人間	2	前期	選択	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	今年度も昨年度と同様に新型コロナの影響で遠隔で授業を行った。対面講義では講義配布資料を書き込み式にすることで内容理解を促していたが、受講生の中にはプリンターを持っていないなど印刷手段がないものが数多くいたため、講義資料を事前に配布して予習を促した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	昨年度はレポートのみの採点となったために、教育目標が完全に達成されたかどうかの判断が難しかったが、今年度は対面での試験が実施することが出来た。試験結果を見る限り、教育目標を達成できたと判断出来る学生が多くいる一方で、そうではない学生も散見される。毎授業後に課した小レポートも明らかに授業を聞いていないと思われる者もあり、Classroomの入退室時間を見ると数分で退出している学生も数名見られた。授業内では学生から寄せられたすべての質問に回答しており、評価基準も明確に示しているにもかかわらず、アンケートには「そうではないと思う」という回答があるが、おそらくは授業を聞いていない学生が回答したものと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講生は講義内容におおむね満足していると判断できる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	遠隔での講義は昨年度も行っており、今年度もその経験を活かしつつ、適宜学生からアンケートを募って修正しながら進めることが出来た。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	遠隔での講義は移動が生じない点では楽であったが、やはり学生の顔が見えないために壁に向かって話しているような感覚に陥りやすかった。来年度は対面に戻られるので、嬉しく思う。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	後藤 宇生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
経済学入門	2	前期	選択	はい	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	最近の経済学の動向を踏まえ、現実の問題とつなげること。
--	------------------------------------

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	経済学、特にミクロ経済学における、ゲーム理論やマッチング理論など、最近話題のものを知識として提供し、理解を促した。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	授業の進め方のコメントはほとんどなかった。出席についてのコメントがあった。遠隔授業だったため、出席管理が難しかった。この部分の工夫を考えたいと思う。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進め方のコメントはほとんどなかった。遠隔授業だったため、出席管理が難しかった。この部分の工夫を考えたいと思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	概ね達成できたと考えている。課題として、出席管理と理解度をますような工夫をしたいと思います。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	福田 達也

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
法学	1	前期	選択	はい	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講生が板書をノートにきちんと書き留めるように、スライドの静止時間を長めに確保した。そのため、毎回のように講義に出席し、説明を漏らさずに聞いている学生と、講義中の説明等を聞いていなかったり、欠席が多い学生との間に、講義内容の理解に大きな差が生じたように感じた。以上により、学生の学習準備性については、講義の予習よりも毎回の授業の復習を行うという傾向が強いのではないかと推断する。受講動機については、多くの学生が単位数の確保のためと回答しており、法学に興味を抱いて履修する学生が少ないので、今後は履修した上で興味を持ってもらえるよう工夫を施していきたい。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	試験の成績については、全体として高得点者が多く、上記の目標はほぼ達成できていると思われる。しかし、学生による授業評価によると、到達度自己評価の全ての項目において、多くの学生が③の「まあまあそうだと思う」および④の「わりにそうだと思う」を選択しており、試験の成績とは別に学生の授業内容の理解に努力が必要であると感じた。学習量の評価については、0時間と回答する学生が多いので、今後は授業時間内だけでなく授業時間外学習をしなければならないよう工夫を施していきたい。さらに、授業時間外学習時間が少ないことと併せて、図書館やインターネットの活用についても、利用していないと回答する学生がほとんどであったので、上と同様に今後の課題としたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP/CPカリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性については、ほぼ問題ないと思われる。法学は基本的には、まずは制度の内容や基礎理論の理解が重要であり、知識・理解の面が極めて重要であると考えられるためである。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進行方法については、現在のところは変更を検討していない。板書(スライド)による講義スタイルを採用しているが、板書だけでなく、説明を聞いていなければ内容の理解に至らないようには工夫している。受講生自身が、板書の文字だけでなく、補足説明を聞きながらそれぞれのノートテイキングを行い、理解を深められるようさらなる工夫を考えたい。講義中における概要プリントがない分、毎回の授業の説明をきちんと聞いておかなければならないという意識を学生に持ってもらえたらと考えている。現在のところは、試験の全体的な成績を見てもわかるように、このスタイルである程度は理解が高まっているので、今後、全体的な成績が下がるようであれば、概要プリントの配布も検討していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業時間外学習をいかに確保するかが今後の最重要課題と認識している。適宜、課題を課す等、積極的に取り組んで行きたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語入門	1	前期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①本科目は初めて中国語を学習する学生を対象とし、中国語の入門知識をマスターすることを目標としています。授業の実施にあたり大切にしていることは2つありました。1つは、学習者に中国語の特徴と学習方法を把握してもらうこと、もう1つは学習者が楽しみながら、しっかり練習できるようにリズム感のある授業にすることです。 ②開講時に学習目標や学習方法、評価方法を明示した。毎回の授業に授業スケジュール及び予習・復習の内容を学生に明示し、予習・復習してもらった内容は必ず学生に発表してもらい、間違ったところを訂正し、分かりやすく説明しました。受講動機は「関心のある内容である」が75%であったので、大多数の学習者の受講動機に合ったものと考えられます。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	大多数の学生は毎回の授業に真剣に取り組み、優秀な成績（総合評価の平均点が88点）を取めたことから上記のように評価した。 また、学生による到達度自己評価において、(1)～(10)の10項目の中央値がすべて4.0であったことから上記の評価は適切であったと思われます。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 本科目は「総合人間科学」に属する選択科目であるが、観光文化学科の「専門教育科目――中国語通訳ガイド演習や観光中国語など」と関連性を持つ重要な位置にある。学生により学習習慣を付けさせ、中国語学習において、分かる、できる、つながるという喜びを感じさせ、中国語大好き人間にさせることが最も重要だと考えて授業を進めた。学生が優秀な成績を収めたことから、内容的には妥当であったと考えられます。 ②DP、行動目標からみての内容的妥当性 「受講動機」は関心のある内容であったことや、「学習到達度の自己評価」において、(1)～(10)の10項目の中央値が共に4.0であることからみて、内容的には妥当であったと考えられます。 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われます。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	常に学生の学習状況を確認し、無理のないように授業を進めた。 「授業の質の評価」の5項目の中央値はすべて5.0であることから授業の進め方は適切であったと言えます。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「授業の質評価」5項目の中央値はすべて5.0であることから、総括的に高い授業効果が得られたと評価する。 遠隔授業しかも多数のクラスでは如何にしてすべての学習者に同等程度の授業効果を得られるかが課題です。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	金 光子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハングル入門	1	前期	選択	はい	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	韓国語が初めての受講者が多いことから、ハングル文字でつまづかないように経験上理解しにくいところを先回りして解説するなど、わかりやすい授業を第一に心がけた。また受講動機において、約80%の学生が「関心のある内容である」との回答をしていることからわかるように、もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組んだ。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	毎週の提出課題についてみると、回数が進むにつれて学習の成果が表れており、後半に向けては皆が完成度の高い内容の課題を出せるようになった。到達度自己評価の多くの項目において平均点も中央値も4であり、教育目標は到達したと考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本講義は語学学習を通じて韓国という国・地域に興味をもち、言葉に現れる文化の違いなどを理解し、また実際に韓国語を話すことによって異文化への理解を深めながら学習が可能になったと思うので、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性は問題ないとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進捗は課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に質問を受けて指導にあたったりもした。授業の進め方については学生からアンケートを取り、意見を取り入れながら授業内容の構成に臨んだ。結果、授業の質評価では平均値4、中央値では5もあり、一定の評価が得られたと考える。前期に履修すべき語学の基礎的レベルには十分に達したと思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと思う。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
フランス語入門	2	前期	選択	はい	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	志望動機は全体の63%が「関心のある内容である」と回答した。未知の語学であるフランス語に対するある程度の関心があることが分かった。教科書はフランスに実際に旅行することをイメージしながら学べ、写真が豊富で、web版の学習サイトとも連動しており自律学習が可能なものを採用した。2021年前期は全面的に遠隔授業をすることになった。Google Classroom内にGoogle Formsによる「理解度チェック」の課題を設け、解説を読みながら質問に答え、オンラインでひとりで授業を受けるとしても無理がないように留意した。毎回のMeetで出席確認するとともに、前の回の復習としてスピーキングチェックを行った。教科書以外の取り組みとしては、フランスの文化習慣に関するコラムや、フランスの最新ニュースの日本語訳とURLをClassroomにアップし、フランスやフランス語への多面的な興味・関心を引き出そうとした。また、フランスへ実際に旅行することを想定した「旅のしおり」を作成し、レポートとして提出する課題を設けた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は72.7点（±69.4点）であり、全体の39.3%は理想的なレベルに達した。33名中、4名がS評価、9名がA評価だった。学習到達度の自己評価を目標別に見ると、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」「まあまあそうだと思う」と答えた割合は、DP1「知識・理解」に関しては100%だった。このことから学生の目標は「達成された」と思われる。またDP5「技能・表現」は94.4%という結果で、9割以上の学生は一定程度の技能や表現力を身に着けることができたと考えていることから「達成された」と判断する。学習量の面では、75.9%が1回30分程度以上の予習・復習を週に1回以上行っていると回答した。授業の課題以外に取り組んだ学習として、「web版の教材で問題を解いた」「自分なりのノートで復習をした」「パリについて調べた」「発表に向けた練習をした」などが挙げられた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	授業の質評価において、どの項目も評価は比較的高かった（平均値は4.1から4.4）。高い評価となったのは、オンライン授業の性質によることも大きかった。評価基準はGoogle Classroomでの課題、期末テスト、Meetでのスピーキングチェックであることが明示され、課題の締め切り日が近づけばオンラインでリマインドされるので、提出を忘れることが少なかった。分からないことは各自で何度でもFormsの解説を読み返したり、音声を聞き直したりできる。Meetで直接質問に答える時間もあった。この授業は、内容的に妥当性があったものと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	Meetではパワーポイント等のスライドを画面共有し、教科書の内容をテンポよく扱うことができた反面、クラスメイトと話し合う時間があまりとれなかった。毎回、接続トラブルなどで、私の声が聞こえない人や、逆に、呼びかけた際に私のほうに声が聞こえない人が必ずいたので、全員平等に十分な発音・発話指導をするのには苦慮した。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	昨年度の遠隔授業の反省をもとに、今年度は余裕をもって準備をし、課題の内容や量は妥当と評価されたものの、もう一段階レベルの高い授業を運営するにはさらなる工夫が必要と考える。次の授業が対面でも遠隔でも、それぞれの良さを活かせるように検討を重ねたい。対面授業ならば遠隔授業の効率の良さを、遠隔授業ならば対面授業のコミュニケーションの取り易さを、学生が実感できる授業づくりをしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本語表現法	3	前期	選択	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	学生たちが社会に出て立派に通用するためにも、まず、書くということの根本理念から考察し、小論文作成、伝達文作成、敬語の問題、普通の文の作成、日本人特有のぼかし表現のルーツ、ひいては人間関係の及ぼす表現の意味、など言葉に関する内容を多岐にわたって考察した。これは同時に、ひるがえって考えるならば、言葉の背後に隠れている日本文化についても認識を深めることが出来るわけで、学生の求める専門分野に重なっていくものと思われる。そういったことも配慮しながら講義を進めている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	当初は達成度が70%ぐらいであったが、徐々に学びの自覚が表れていき、80%辺りまで伸びていったようである。リモートという難しさもあったが、声に出しての一人一人の発表に良い意味で刺激を受ける学生も多く、共に学ぶ利点は活かされていたように感じた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容的妥当性は良かったと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	一人一人指名して発表することにより、よい意味で他の学生の刺激になり、たとえリモートであっても、講義そのものに一体感が生まれ、活性化してたように感じられた。今後もこのような雰囲気になるべく工夫することが重要と思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	達成状況の総合的評価は今年度は85%である。昨年度より向上しているようである。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
メディアリテラシー	1	前期	選択	はい	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	高校までの学習状況で、パソコンの扱いに慣れている学生とそうでない学生が混在しているため、課題を平易なものから高度なものまで段階的に用意し、高度な課題の一部は上級者のみを対象としたオプション扱いとした。全授業回のうち、前半は基礎技術の習得を行い、後半はグループワークによる実践的な取り組みとすることで、学習意欲の継続と学習内容に対する興味喚起に努めた。 情報関連の知識・技術が今後の学生生活や就職後に必須であることを理解できるよう、課題の内容を工夫した。 また、後半のグループワークでは、創造性やコミュニケーション能力の育成といったグループワーク一般の目的に加え、各自が目指す職業の社会的意義や多様な活動についての情報収集を通し、職業そのものおよび身につけておくべき情報技術について、理解を深め実感を得られるよう学習プロセスをデザインした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。 授業アンケートの到達度自己評価の項目のうち、本科目に特に関係する（2）知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、の結果は良好であった。 授業外の課題を行っている学生は少ないが、これは授業の課題量が多く、一部は宿題となるため、授業外の課題を行う必要性は少ないと考えている。実際、自由記述に「課題で十分」という記述が多い。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、全ての学科に存在する学科横断の科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけではなくグループワークによる能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であり、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は少ないが、授業を通して理解されるよう努めている。実際、到達度自己評価の項目のうち、（7）自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた、の結果は良好であった。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	完全遠隔授業だったため、Line for Businessによる質問環境の整備を行い、授業中および授業時間外において、数多くの質問を受け付けることができた。また、学生側の定期的なカメラ・マイクオンや、学生間でのディスカッションなど学生間の交流に配慮した。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	岡本 正宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報処理基礎	1	前期	選択	はい	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	授業内容は、Microsoft OfficeのWordおよびExcelの前半部分（基礎）である。学生の受講動機の選択率の高いものは、③関心のある内容である。(65.4%)、④単位数を確保する。(61.5%)であった。高校生の時の情報教育内容は出身高校でバラバラであることから、統一した問題を与えるのではなく、前もって、基礎から応用までの種々の問題プリントを前もって与え、高校時代にかなりのことを学んでいる学生に飽きさせないようにそれぞれの問題の解答をいつでも提出させるようにした。そのことにより、自己評価では、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた。(平均点4.2)、(1)自分なりの目標を達成した。(平均点3.8)、(7)専門分野で必要となる技術を身につけることができた。(平均点3.8)の結果が出ている。授業の質評価では、(2)期間内で行うべき学習の範囲や課題は明らかであった。(平均点4.2)、(1)評価基準は明らかであった。(平均点4.0)
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	出身高校時代の情報教育の程度に非常にばらつきがあり、統一的に講義ができず、かなりの程度の知識がある学生については、かなりの課題を与えて回答させた。ただ、定期試験で不合格者がゼロであり、一定の知識理解を全員に与えることができた。しかし、自由記述の意見のなかに、課題でいっぱいだった、時間に余裕がない、という意見がある一方、実際習ったことを使って何度か自分でエクセルを使って練習した、自分でインターネットを使ってより理解を深めたという高評価もあり、改めて、この種の演習の講義進行の難しさを再確認した。説明が早くて追いつけない、この授業を通じてパソコンのスキルがとても上がったという対立的な意見があり、それに加えて、オンラインで講義をせざるを得ない状況であったことから、対面でこの種の演習をやらないといけないと思った。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	内容の妥当性は、上記の受講動機、学習到達度の自己評価からも問題はないと考えられるが、オンラインでの演習という環境から一人一人の質問を講義室を回ってチェックすることができなかったことから、一部の学生に、苦手なので説明が早くて追いつけない、説明がわかりづらいなど、教員として反省することが多々あった。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	昨年度に続いてオンライン演習の形になり、一人一人の理解度を演習室を見回ることができないことから、授業がとても分かりやすかった、説明がわかりずらかったという相反する学生からの意見が出たことから、オンラインでの改善方策を考慮中である。学生がわからなかった場合は、そのファイルを添付して、メールを送ってもらい、それに回答するやり方を導入してみたが、時間遅れで理解させることになってしまい、その場で説明することをなんとかできないのか？
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	とにかく、オンラインではなく、対面で演習を行いたい。学生のパソコンもMacやWindowsが混在しており、また、バージョンも異なることから対応に苦慮した。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	岡本 正宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報の理解と表現	2	前期	選択	はい	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	この講義の目的は、HTMLを用いてホームページを作成できることにある。そのためのスキルを毎講説明して、トータル2回のホームページを作成させた。したがって、成績評価はペーパー試験ではなく、2回の提出課題の完成度(70%)と出席(30%)で行った。学生の受講動機は、③関心のある内容である(55.6%)、④単位数を確保する(55.6%)であった。ほとんどの学生は、ホームページの作成は初めてであったことから、講義は統一して行い、理解度にばらつきは生じなかった。ホームページの完成度は非常に高く、80%以上の学生の完成度は予想を超えるものであった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	到達度自己評価では、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均点4.4)、(6)学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均点4.2)、(7)専門分野で必要となる技術を身に着けることができた（平均点4.2）であった。また、授業の質評価では、(5)何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた(平均点4.3)、(1)テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった(平均点4.2)であった。また、自由記述では、習った技術以外の方法も調べてやってみた、やり方を忘れないように真似て復習したなど、かなり学生の積極性が見られた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	内容の妥当性は、ホームページの作成をHTMLを用いて1からできることであり、受講生全員が予想を超える完成度であったことから妥当であるとする。また自由記述で、分かりやすい説明や何回も教えてくださったおかげでホームページの作り方を知ることができたという評価を得ている。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	オンラインの演習であっても、対面に劣らず完成度の高いホームページを作成させることができた。ただ、各学生のPCに動画作成のためのホームページビルダーが統一してインストールしていないことから、より高度なホームページ作成がオンラインではできなかった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	オンラインである程度の完成度を持ったホームページを作成させることができたが、できれば、対面で、ホームページビルダーをインストールしたPCを用いて行いたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
北九州の技と文化	3	前期	選択	はい	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	3. 授業準備について 授業評価アンケート（回答者7名）の受講動機を見ると、4. 単位数を確保する（85.7%）、3. 関心のある内容である（28.6%）、5. GPAを上げる（14.3%）と続く。外発的な動機もなされている層がいることがわかる。3. 関心のある内容である（28.6%）は、5学科中の低い方であり、これに示される内発的な受講動機がもっと高まってほしい。授業評価では、5. 情報利用の上の2項目（1.シラバスを参考にした、2.授業計画を立てたで、5学科中で最も高い利用率となっており、たいへん好ましい学習準備の状況であるが、更に増えてほしい。昨年度の外部講師の講義内容が、どちらかというところ、人文系に傾いていたことがあり、本年度は保健福祉学部系の教育内容に関わる業界の講師も呼んだ。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	4. 学生の教育目標達成状況について 全般的にはやや達成された」と考える。採点対象者（10名）の成績分布は、A(20%)、B（50%）、C（10%）、E（不可20%）である。授業評価アンケートの「到達度の自己評価」では、2.7～3.6の範囲内にある。成績はレポートが100%である。レポートについては、初回オリエンテーションに予告し、最後の二回の授業でも書式等については詳しく説明した。その内容は1. 参考文献の書き方、2. レポートの見本（学習技術研究会〔編著〕知へのステップくろしお出版）、3. レポートの書式をClassroomに公開した。E（不可20%）は不本意であるが、レポートのみでの成績評価であり、残念ながら標準的な水準に達していないレポートがある、そのような評価となった。なお、大学の全学科の2. 到達度評価（DP）の10項目の平均を示す。看護：2.9、福祉：2.61、栄養：3.78、英語：4.18、観光文化：3.21。3. 授業の質評価（5項目の平均）は、次となる。看護：3.42、福祉：2.66、栄養：3.76、英語：4、観光文化：3であり、大まかには昨年度と同じ傾向である。観光文化学科は文章やレポートを書くことについては、かなりのトレーニングを受けていることがわかる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	5. DP, CP, カリキュラムマップ上における本科目の位置づけについての評価 本科目は総合人間科学の学部共通科目中の地域創生のカテゴリーに位置する。外部講師を幅広くいろいろな分野から選んでいる。今回招いた5名の外部講師の講義がどれも観光文化学生の専門性に何らかの形で関わるものであり、将来のキャリア選択に際して、幅広い視野を持たせてくれるものとなった。このようなことから、本科目を3年前期に置くことは、妥当であると考ええる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	6. 授業の進め方とその向上について 授業評価アンケート（回答者7名）については、「学習の質の評価について」は、2.9～3.3の範囲内にある。「学習量の評価」については、「（１）授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどのくらい行いましたか」に対しては、①0回が6名である。「（１）授業に参加するために、1回30分程度以上の復習をどのくらい行いましたか」に対しても、①0回が5名である。予習復習のどちらにしても、7割以上の学生が何もしていない。しかしながら、予習については、学生を責めることはできない。外部講師からの授業前の資料を事前に学生に提示することをしていないからであり、予習の必要性がない形になっていたからである。これを改善するには、外部講師からの資料を事前に入手して配布しておくしかない。教員への意見は1件。一つはレポートの説明をわかりやすくするようにとのことでした。次年度は明確に説明したいと思います。これについては、同様の意見が出た学科と共通の内容で回答します。レポートについては、初回授業で詳しく説明しました。最後の二回の授業で、書式、見本、参考文献の書き方に再び触れまして。また、メールでの問い合わせのやり取りをしました。また授業で、「レポートについて質問はありませんか」と質問をしました。そこでの質問が欲しいと思いました。メールや授業で出た質問にはそこで答えて、またそのやり取りを文字情報として、Classroomに公開しました。おそらく、情報を出しすぎて受講生が混乱した可能
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	7. 総括的評価と来年度に向けての課題 全般的には、目的は「達成された」と考える。大学の全学科対象の選択科目であり、受講生が多くなることが予測されるが、いろいろな背景の学生がいることを想定して、必要に応じて個別指導等を行うことが必要と考える。3年生以上であり、レポートの書き方の基礎は学科を問わずできていたと期待していたが、そうではない学生もいることが分かったからである。しかしながら、教育目標にDP5（技能表現）を含まないこの授業で、レポート作成の基礎として、例えば参考文献の並べ方から指導を行う必要があるのかを自問すると、この科目担当者がそれを担うべきなのかについては迷うが、初回の授業で学生の反応を見て、レポートについては丁寧に説明をする必要があると考える。この2年間は遠隔授業であり、資料配布も遠隔でなされた。端末によっては、資料が開けないなどのトラブルも避けられない。デジタルの専門家でもなく、その場では対応ができないこともあり、次年度は、テキストは購入してもらうことで、少しでもトラブルを減らしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ボランティア概論	1	前期	選択	はい	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本講では、ボランティアや地域貢献活動等の理論や実践について学びを深めるとともに、自らボランティアに参加したりすることにより、自分自身の社会的有効性や存在価値を見出し、豊かな人生を目指すことを目的としたものである。全7回の講義中、現在進行形で活動しておられる、外部講師を5団体招聘して、リアル講義の工夫をした。 特に自分自身で活動を行いたいと思うような気持ちを膨らませられるよう、質疑応答の時間を多く設けるように工夫した。 初回講義の時には、この講義で何をするかということを、ペーパーにして配布し詳細の説明をした。心構えと題してのペーパー（内容は休まない、協力する等の再確認、外部講師の方々へのマナー礼儀の確認）を配布して関心をもたせた。また、毎回、リアクションペーパーの記入で、自分が何をどんな風に学んだかを振り返る時間を必ず設け、考えたことを文章にて表現させ、次の時間に必ずフィードバックをした。 なお、今年度に関しては、保健福祉学部と人文学部の全学科合同でのWeb講義ということになり、多人数かつ少々リアルに欠けるところもあったかもしれないが、学生たちのリアクションペーパーから、また外部講師の先生方の力強いご協力により、十分な教育の提供ができたと思われた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	全体を通して目標の達成度が達成されたという根拠は、欠席が非常に少なかったということが考えられる。そのことで、学生の意識をしつかりと受け止めることができたと感じている。また、リアクションペーパーの中には、Webではあったが楽しい授業であった、普通では知ることができないことを学べた、実際にボランティアを始めた、等々の記載内容のものが多かった。当然楽しいだけではいけないので、毎回必ず振り返りを教員と学生と一緒にやって、このボランティア概論の意義と必要性を高めた。そのようなことから、最終的には全員が学びと感動を深めることができ、理想的レベルまで達成できたものと考え。 講義時間内だけのものになってしまう可能性もあるので、外部講師（ゲストスピーカー）の団体の事前学習の課題を与え、考えさせて興味を持たせるよう工夫して行った。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性については、学生の授業評価アンケートの評価や、最終報告から見て、内容としては妥当と考えられる。DP、行動目標から見ての内容的妥当性に関しても同様で、内容的には妥当であったと思われる。以上のことから、内容的妥当性に関しては問題ないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由」で、「することがなかった」という回答があった。 地域貢献や社会活動、ボランティア等々の重要性について、より具体的に社会の中での状況を興味深く話していき、可能な限りリアルに伝わるようにして、講義以外の時間でも振り返ることができるような意識付けを深めていきたい。 事前の課題をほぼ毎回課したので、インターネットの利用が多かった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本講においては、学生からの自己評価やリアクションペーパー、最終講義の時の全体的感想によって、その達成は理想的レベルであると考えられる。 講義内容もゲストスピーカーの方々のご協力を得て、ウェブ講義ではあったが、シラバス通りに進化した。 次年度も同様な内容で進めていこうと考えるが、時代をキャッチした内容の講義を展開していきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	阪井 俊文

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ライフイベントとキャリア支援	2	前期	選択	はい	53

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講動機としては「単位数を確保する」と「関心のある内容である」が多くなっている。本科目は、学生に今の時期から自身のキャリアや人生設計について積極的に考えることの重要性の理解を促し、必要な知識を提供することを目的としており、単位取得を目的に履修した学生にとって、結果的にこの目的が伝わっていれば問題ないと考えている。今年度は、例年に比べて本学科の履修者が多かったが、履修者が少なかった学科もあり、学科により登校日を分けるという変則的な時間割が、履修するか否かに大きく影響したとみられる。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	講義後に毎回、コメントの提出を求めたが、その記述内容から、多くの学生が真面目に受講し、自身のキャリアと結び付けて考えていることが伺えた。アンケートの自由記述では、他の履修科目の課題に追われ、本科目の予習/復習には時間が割けなかったという意見が多く見られたが、科目の性質上、学科の専門科目よりも優先度が低くなるのはやむを得ないと考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	アンケートの「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」や「職業選択の参考になった」という項目で肯定的な回答が多くなっていることから、本科目の目的は概ね達成されていると考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	今年度はすべての回が遠隔での実施となったが、講義形式の科目であるため、対面の場合とほぼ同様の内容で実施することができた。ただし、授業回数が元来8回しかない科目であり、今年度は7回に減ったために、内容を一部減らさざるを得なかった。アンケートの、授業の理解度などの指標において否定的な評価はほとんど見られないことから、授業の進め方などにおいて特に問題はなかったと考えられる。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	今年度は、昨年度に引き続きコロナの影響で遠隔授業と講義回数の削減という制約を強いられたが、すでに学生が遠隔授業に慣れていたこともあり、スムーズに授業を進めることができた。学生に課したレポートの内容から、学生がキャリアについて考えることを促すことができたと考えている。次年度以降も、社会情勢を踏まえ有意義な知識を提供できるよう努めたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光学入門	1	前期	必修	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	受講動機をみると「必修科目である」100%、「関心のある内容である」26.3%、「単位数を確保する」31.6%となっている。学生の関心を引き出し、多くの学生が勉強したい科目になるように、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（レポート提出）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は89.1点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解、態度、技能表現に関する問題はそれぞれ94.7%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、態度、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。図書館やインターネットの利用に関しては、それぞれ5.5%、72.7%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみての内容的妥当性 成績評価から知識理解、態度、技能表現に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 本科目は「観光学入門」であるが、「観光系の授業の基礎」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価は良かった。「説明は理解しやすいものであった」、「評価基準は明らかであった」に関してはそれぞれ94.7%で、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数がそれぞれ100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「観光系の授業の基礎」をつなぐ要の位置にある「観光学入門」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、態度、技能表現を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国内旅行実務	1	前期	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目に対する学生の受講動機をみると、「関心のある内容である」と答えた学生が64.4%であり、「単位数を確保する」と答えた学生の48.9%を大幅に超えている。これは本科目に対する学生の期待が大きいことの現れであると言える。授業においては、日本各地のさまざまな観光資源の単なる説明にとどまることがないように、各地の歴史、風土、民俗、食文化などを背景を踏まえて丁寧に説明することに重点を置いている。また、各地の地形や気候環境が人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについても詳しく説明するように心掛けている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	DPの平均値は「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」という項目が3.9である以外は、すべて4.2～4.6と高い。本科目が各地の観光資源に関する知識の習得を一つの目標としていることを鑑みると、本科目の教育目標は達成できたと考えることができる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「観光に関する科目」の一つであり、観光学および観光ビジネスの基礎となる性格を有していることから、内容的には妥当であると考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては、平均値の大半が4.2～4.6と総じて高いことから学習目標は達成できたと考えている。知識の習得という学習目標が主となるため、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目は優先順位が低くなりやすいが、レポート内容の質を高めるなど、次年度に向け検討したいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目は「国内旅行業務取扱管理者試験」を目指す学生の多くが履修しており、授業に積極的な学生が多い。今後の授業においてもできるだけわかりやすく丁寧な講義となるよう心掛けていきたいと考えている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光関連法規	1	前期	選択	いいえ	44

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「観光に関する科目」に位置付けられており、旅行業法や旅行業約款など旅行関連の法律科目を取り扱っている。したがって、授業においては、旅行業法の成り立ちおよび各条文の解説、また旅行業約款のポイントなどをわかりやすく説明することを心掛けている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	DP1およびDP5に関する平均値が4.3、4.1と高いこと、また自由記述に「わかりやすかった」という記述が多数みられたことを根拠として挙げることができる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は1年次に配当されている「専門教育科目」の「観光に関する科目」である。観光学の基礎や観光ビジネスを学ぶ基礎としての位置付けという意味では内容的妥当性があると言える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては、平均値の大半が4.0以上と総じて高いことから学習目標は達成できたと考えている。知識の習得という学習目標が主となるため、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目は平均値が3.6と比較的低いが、この点については今後工夫していきたいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目は「国内旅行業務取扱管理者試験」を目指す学生の多くが履修しており、授業に積極的な学生が多い。法律科目という性格上、内容が難しくなりがちであるが、今後でもできるだけわかりやすく丁寧な講義となるよう心掛けていきたいと考えている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
海外旅行実務	2	前期	選択	いいえ	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	オンライン授業の際に教材がネット上で取ることができるようなものを準備した。学生たちは1年次に国内旅行実務について学習済みであるが、これは総合旅行業務取扱管理者にも必要なものであるため、重要な項目については復習を行った。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	やや達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	旅行業英語、約款、業法については試験での得点率が高かったが、海外実務のうち航空時刻表についての得点率が低かった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	自ら過去問を学んだという学生が何人もおり、積極的にこの科目を履修して身につけようとする姿勢が見られた。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	一人だけであるが、授業についていけなかったという学生がいた。今年度の試験で正解率の低かった内容については、時間をかけて説明をしたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	1年次の国内旅行実務の延長の科目であり、昨年度からの積み重ねにより、受講学生の学習レベルに差が大きい。国家資格合格を目指すなら上位者に焦点を当てなければならないが、それだと下位者がついていけなくなる。それらを調整しながら、何とかバランスよく授業を進めたいと思う。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光マーケティング論	3	前期	選択	いいえ	62

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機をみると「関心のある内容である」89.5%、「単位数を確保する」63.2%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（レポート作成）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。 ④観光を学ぶ学生たちに観光産業及び観光地域でのマーケティング事例を分かりやすく紹介し、それらの事例を通して、観光マーケティングの魅力とその理論のエッセンスを理解してもらうことに工夫した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は87.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断、意欲関心に関してはそれぞれ94.7%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館の利用に関しては、26.6%、インターネットの利用に関しては、78.9%で、図書館やインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「観光マーケティング論」となっており、インバウンド観光における観光マーケティングを勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数がそれぞれ100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「観光マーケティング論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心のレベルを高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	松笠 裕之

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
宿泊産業論	3	前期	選択	いいえ	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	この授業は、専門科目として配当学年が3年生以上ということもあり、専門的な内容となっている。また、教員のホテル勤務を通じて得た体験や経験、また、人事担当者として大卒採用面接対策なども講義の中で取り入れている。講義内容は、人文科学の歴史学、社会学の分野におけるホテルの起源並びに歴史の変遷を中心に学ぶこと、並びに社会科学の経営学の分野におけるホテルマネジメントの2つの分野の多面的な学問領域によって学際的な内容となるように構成されている。また、職業教育の一環としてサービス産業におけるホテル業の実務的な面も講義に取り入れて受講生全員が興味を持つような話題を中心に授業を行っている。今回は、コロナの影響で遠隔授業となったが、パワーポイントとレジメを使って、前回の復習に始まり、授業のポイントを各自でレジメに記入するようにして記憶を促進するよう工夫した。各授業終了時に出席表に本日のポイントの復習点を整理させ、毎回の授業に対するコメント、疑問などを書かせて完結するようにしている。 授業の実施にあたり最も重点を置いた点は、毎回復習の後にコメントの紹介と学生の質問に対する回答や、授業中に課題を与えてディスカッションを行った点で学生の講義への積極的な参加を促進した点である。最後に当初は期末テストを予定していたが、今年度については、毎回のレポートで評価を行った。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された		達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	今回はコロナの影響で第3回目以降が遠隔授業となったため、授業の出席状況並びに毎回のリアクションペーパーを基に成績評価を行った。まず、平均出席率は、13.167回(94.05%)で3回を超える欠席者はいなかった。リモートということもあり、出席率は非常に高く、欠席が少ない授業であった。次に成績では、(秀)評価8.4%、(優)評価38.3%、(良)評価20%、(可)評価31.7%、(不可)評価1.6%で(秀)評価と(優)評価で約42%と学習効果が高いことが数字で示されている。これは、リアクションペーパーによる質問や課題に対する意見など講義への積極的な参加により学習効果が上がったと思われる。また、授業評価アンケートでは、とてもためになる講義でした。宿泊施設やホテル経営の話だけでなく、就活についての話もありとてもためになった、という感想があった。また、各授業終了時のリアクションペーパーでは、授業の内容をホテルでのアルバイトに活用したり、ホテルの仕事に興味を持ち、将来の就職先の候補として考えるようになった学生などもいたため、実践的な部分での成果が確実に出ているものと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	全ての講義で必ずリアクションペーパーを学生に書かせることで学生自身の授業におけるポイントの確認と学生の疑問点並びに傾向を確認できる。毎回の授業では、授業のはじめ10分程度必ず復習を行い、リアクションペーパーへのコメントと疑問に答えるように工夫している。人数の関係ですべてのコメントを紹介できないのは残念であるが双方向式の授業として成績面においても成果が出ていると思っている。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	この授業における目標である理論と実務両面の知識獲得については達成できたと思える。実務的な要素が強い講義であるため、最新のニュースや話題などを取り扱った視聴覚教材なども使って理解促進を図りたいと考えている。また、リアクションペーパーを使って双方向型の授業をしているが疑問に回答するのが次回ということで時間差があるため、リアルタイムに疑問に答えていけるような工夫を検討していきたい。対面授業であれば、グループディスカッションなどを導入したいが人数と時間の関係上難しいためそれに代わる討論型の授業も導入していきたいと考えている。DPの中の到達度自己評価の最高点が4.3、最小点が3.5で平均値4.0であった。「コミュニケーション力や表現力を高めることが出来た。」について少しそうでないと回答した学生が1名いたが、「わりにそうだと思う」と答えた学生が全体の約20%いたので、授業評価の基準が学生の中で共有されていない可能性があり、「まあまあ」「わりに」「かなり」の差はなんであるか、教員と学生の認識の違いについても学生の要望をヒアリングして確認する機会が欲しい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	総括的評価としては、高い出席率並びに成績評価がすべてをもの語っており、教員として手ごたえを感じている。また、今回の授業アンケートの項目で、2の到達度自己評価のところでは、平均値が4.0を超えるものとして(2)の「知識を確認し、修正したり、新たに得ることが出来た」では、平均値が4.2、(6)の「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことが出来た。」では、平均値が4.2、3の授業の質評価のところでは、(3)「説明は理解しやすいものであった」では、平均値が4.3、(1)「テスト、レポート、提出物等の評価基準は明らかであった」の平均値が4.2であることから今回の授業は評価できていると考えている。6の図書館利用についてはほとんどの学生が図書館を利用しなかったと回答しているため、図書館を利用するように課題を与えていきたい。さらに、グループディスカッションの機会を設けて、例えば地域における宿泊産業の役割などの共通のテーマで討論できるような機会を作りさらに深い知識習得に努めていきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
インバウンド観光論	4	前期	選択	いいえ	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機をみると「関心のある内容である」66.7%、「単位数を確保する」91.7%となっております。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト（レポート作成）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。 ④学生たちに各国の文化地理、旅行に対する一般消費者の考え方、日本のイメージ及び訪日旅行の事例を分かりやすく紹介し、それらの事例を通して、日本におけるインバウンド観光の意義を理解してもらうことに工夫した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された	達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は86.7点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては91.6%、意欲関心に関しては83.3%、態度に関しては91.6%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 インターネットの利用に関しては、25%で、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心、態度に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「インバウンド観光論」となっており、観光産業界におけるホスピタリティを勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価は良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数がそれぞれ100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「インバウンド観光論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、意欲関心、態度のレベルを高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マーケティング入門	2	前期	必修	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	マーケティングは、企業経営の中心概念である。一昨年度より本学科のカリキュラムには「企業とはなにか」「経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置された。その為、その学習成果に加え、学生の興味喚起のために観光・旅行系などの企業経営、北九州市などの自治体など団体組織におけるマーケティングの役割の理解に重点をおいている。また今回は対面・オンライン授業ということもあり、マーケティング興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用した。学習準備性については、上述のように企業組織・経営の基礎理論を学んだ学生にマーケティングへの興味・理解をステップアップさせるために新聞・テレビなどの経済経営記事に慣れ親しむ事を学習準備として示している。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	この授業はあくまでマーケティングという学問への興味を促進することが大きな目的としているので、映像情報、ビジュアル情報など多用し、興味から学習意欲の向上を促した。アンケート結果からは、到達度自己評価においてはほぼ達成したが、情報利用、学習量などの少なさが目立つ。今後はレポート、グループワークなどこの点の改善を図る。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	アンケート結果や自由記述内容により授業の進め方については問題ないと考えているが、改善点としてはより以上のディスカッション機会を取り入れ、コミュニケーション力、表現力向上等も検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	オンライン授業ということで科目目標はやや達成されたと思われるレベルであるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
広告宣伝論	3	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	広告宣伝は、マーケティングと同様に企業マーケティングの重要な要素である。そのため経営学入門の学習成果をもとに企業経営におけるマーケティングおよび広告宣伝の役割の理解に重点をおいている。また、広告への興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用している。学習準備性については、上述のように企業経営を学習したことのない学生にマーケティングへの興味・理解をさせるために新聞広告、CMなどの広告に慣れ親しむ事を学習準備として示している。本科目の特性として、実務科目ということもあり、社会、消費者動向変化に対応する最新性が重要であり、企業としての広告活動の実際を学ぶため、学外講師（広告会社）をオンラインで招聘しての講義、思考・表現能力の向上を目指したテーマを与えた個人企画・プレゼンテーションをおこなった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	上記授業準備で述べた通り、体系的なカリキュラム構成による「経営におけるマーケティングの理解が困難なため、あくまで「マーケティングにおける広告とは何か」への興味を促進することが大きな目的であるため、映像、ビジュアルなど多用しているが、アンケート内容から達成されたと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できるが、基本的問題としてマーケティングの基礎知識としての経営学を学んでいないという、カリキュラム体系上の欠陥から、厳密な内容妥当性ではないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業内容、課題など授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入し、問題ないと考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等のさらなる養成も検討していく。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	科目目標はやや達成されたと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。企業経営・組織について知識の習得を踏まえた授業計画・内容としたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高野 雄史

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ビジネスと法	2	前期	選択	いいえ	90

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	法は社会ルールの1つなので、実際の社会生活の場面と関連させて授業を実施しました。具体的には、契約において自己が①消費者（利用者）側になる場面、②事業者（提供者）側になる場面など、日常生活で行われていることが、法とどのように関連しており、どのような具体的なルールが存在するのか意識してもらうことを重視しました。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された			達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	授業後のコメントカードにたくさんの疑問や感想を積極的に記入していただき、法と社会生活における関係性を意識してくれました。本授業を通じて、日常生活に法やルールの存在を意識することができるようになったと思います。また、レポート課題の内容や成績評価についても概ね良好でした。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	【結論】 本科目の位置づけからみた内容は妥当性であると思います。 【理由】 法は社会生活を送るうえで欠かせないものです。つまり、すべての人が社会のプレイヤーとして、商品やサービスの利用者になり、同時にその提供者にもなり得ます。その意味で、社会人としての教養としての法知識・法的思考を修得すること、および様々な法規範が存在する観光業で活躍する素養を修得できるものと考ええるからです。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	①授業の進め方について 時間割に従った同時双方向の遠隔授業を行いました。通信環境に大きな障害もなく、スムーズに授業運営をすることができました。また、Googleclassroomの課題機能を利用して、学生から授業ごとの感想や質問を受けることができたので、授業準備に大きく役立てることができました。特に、授業終了時に強制的に回収する必要性がないことから、提出課題の記載内容がより充実したことは評価できます。対面授業となった場合でも、この機能を活用し、学生からの意見・感想・質問を積極的に受け付けたいと思います。 ②遠隔授業への積極性について アンケート結果では「参加機会が少なかった」との評価をいただきました。授業内容の性質上、発表などの機会をリアルタイムでコメントを受け付けるといより、授業後のコメントカードを通じて、学生自身が「この問題について、自分は〇〇と思った」「授業で取り扱った事例と自分の体験は関係するか」「アルバイトで実際にあったことは、法律的にどのようなことなのか」など、考えていただくこと自体が”授業への積極的な参加機会”と捉えていただけると幸いです。 ③授業以外の学習について 毎年度「課題がなかった」「分からなかった」とのご意見をいただきます。授業のガイダンスでお話しました通り、学生の皆様が高校生
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の皆さんには「法と社会生活の関係性」をテーマに学習いただき、授業目標を一定程度達成することができました。特に、アンケート項目「担当教員への意見」で『面白さが授業への意欲になる』とコメントを頂き、学ぶことの楽しさ、社会のルールに興味関心を持つことの重要性をお伝えできたと思います。また、積極的に授業課題に取り組んでいただき、非常勤講師という立場でありながらも、西南女学院の学生の勉強への真摯さを感じとても嬉しく思います。もちろん、授業への自己反省・ご指摘を踏まえて、教材内容の更新・改善をしています（例：事例や具体例のアップデート）。 最後に、コメントカードにたくさん記入していただき、楽しい授業の時間を一緒に過ごし、朝早い時間からご受講をしてくださった学生の皆様に感謝を申し上げるとともに、これからのご活躍をご祈念いたします。あわせて、classroomなど授業環境を整えてくださった大学職員様に感謝申し上げます。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本経済入門	1	前期	選択	いいえ	41

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「マーケティング・経営・経済に関する科目」で、1年次前期に配当されている科目である。授業においてはテクニカルターム間の関係を理解して頂くことを中心に、わかりやすい説明を心掛けている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	DP項目の平均値が3.6～4.3と比較的高い数値をマークしていることを根拠として挙げるができる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は「専門教育科目」の「マーケティング・経営・経済に関する科目」で、1年次前期に配当されていることから、内容的には妥当であると考え。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：経済学の基礎を学ぶ上で「知識・思考・関心」といったDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であると考え。③以上より、内容的妥当性は問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては平均点が4.1～4.4と高いことから学習目標は十分に達成できたと考えている。今後は学生が意見を述べる機会をより多く増やすなど、次年度に向け検討したいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	大学で初めて経済学に触れる授業であることから、難しい内容は何度も繰り返し説明することで学生に理解していただくように授業を進めた。今後は学生が意見を述べる機会をより多く増やしていきながら、また難しい内容をよりわかりやすく説明するように、次年度に向け検討したいと考えている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際経済入門	2	前期	選択	はい	103

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	「専門教育科目」の「経済に関する科目」の一つである本科目は、1年次に配当されている「日本経済入門」の発展的内容を取り扱うことが予定されている。この点については受講動機においても「関心のある内容である」という項目が67.1%と相対的に高い選択率を示していることから授業への期待を窺うことができる。各回の授業においては英語学科との合同授業であるため、レジュメを作成・配付することで国際経済の基本的な知識を説明していった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	DP1～DP3の項目の平均値はほぼ3.7以上をマークしているため、全体としてはやや達成されたと考えることができる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP全体の平均値はほぼ3.7以上をマークしており、観光文化学科の学生にとっては1年次に配当されている「日本経済入門」の発展的内容を扱う科目である。したがって、内容的妥当性については特に問題がないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	本科目は英語学科と観光文化学科の合同授業であるが、「授業中に自分の意見をまとめる、話合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目の平均値が3.8と比較的低かったため、今後は学生に対して発表の機会を設けるなどの工夫が必要である。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	今後は、学生に発表の機会を設け意見をまとめ、またレポート内容の質の向上を通じて知識の定着を図っていきたいと考えている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	美谷 薫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
タウンマネジメント論	3	前期	選択	いいえ	66

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	実際に自ら情報やデータを収集し、処理・分析して、地域の課題を導き出したり、その解決の道筋を考えることを重視しています。 観光文化学科のほかの科目ではそれほど取り上げられない手法だと聞いていますが、一方で、大学卒業後の進路や社会生活のなかでそういった能力も重要であると認識していますので、通常の講義だけでなく、課題での作業に一定のボリュームを割くように工夫しています。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	出席回数不足で「無資格」であった方を除くと、成績の平均点は84.5点でした。各回の課題に加えて、2本のレポートを提出していただくなど、作業量が多いなかで、丁寧に取り組んでいただいた受講生が多かったように感じています。受講生の皆さんの自己評価でも、平均値が3点台半ば、中央値はほとんどの項目で4.0ということでしたので、概ね教育目標は達成できたと考えています。一方で、中央値よりも平均値がだいぶ低いということは、受講生のなかには相当な低評価をされた方もいるということかと理解しています。 自由記述のご意見では、課題が多いという内容が中心であったと思いますが、上記の「3. 授業準備について」で記載したように、実際に自分なりに情報を収集したり、データを分析してみることを重視しており、また遠隔授業で実施している状況では、そういったことを授業中に受講生の皆さんと取り組むのが難しいという背景がありました。この点はシラバスにも記載し、学期の最初に繰り返しご説明しましたので、ご了解いただきたいと思います。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機で最も多かったのが「関心のある内容である」という結果になっており、また、通常の授業での反応や最終回に提出いただいた授業の感想などを見る限りでは、内容に問題はなかったものと理解しています。シラバスを作成するにあたっては、DPやCPなどにもマッチするように講義を組み立てたつもりです。ただ、具体的に配当されたDP等が、授業科目やその内容と結びつけるのが難しい点もあり、その点の対応は今後の課題であると考えています。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	まず、Google Meetで授業を中継した際に、板書や指示事項が見づらかったという点については、受講生の皆さんにお詫びします。授業を担当するようになって、全く大学に出講する機会がなく、皆さんの通信環境あるいは受講環境をこちらで把握できていなかったことが原因ですが、対応が少し遅れ気味であったのは事実であり、申し訳なく感じています。 そのほか、資料のボリュームが多い等のご意見がありましたが、これは遠隔授業で資料のみでの学習ができるように配慮した結果であり、ご了解いただきたいと思います。このアンケートとは違う場面で、資料が丁寧だったと評価してくださる意見も出ていましたので、こういった形で授業をする機会があれば、重要な部分にマーカーを引くなどして、より理解しやすい形に改めていきたいと考えています。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	遠隔授業で実施するにあたっての課題はいくつかあると考えていますが、授業内容やそれに伴う教育目標については、一定の効果をあげられているのではないかと判断しています。来年度授業を担当する場合には、上記で挙げたような、資料の示し方や遠隔授業の場合の中継の方法などについては、より良い方法を検討していきたいと考えています。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎英語	1	前期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	アンケート回答者は、12名。受講動機を高い順に示すと、①必修科目である（100%）、④単位数を確保する（41.7%）、③関心のある内容である（33.3%）であり、⑥友人が履修している（25%）、②資格取得に必要な（16.7%）と続く。あまり積極的な受講動機とは言えない。対面授業であれば、教室内の学習活動に加えて、図書館の多読（英語）図書を使つての多読、E-learningのCHleruを使つての学習活動を課していた。昨年度は、これらの学習活動ができなかったという経験から、本年度は学生の負担を減らして、どうにか活動を行うことができた。授業では遠隔でも全員達成できる項目を設けて、指名して質問をするところ、例えば音声を書いて書き取りをしておくところは音声をダウンロードできるようにClassroomに送っており、それで予習できるはずであり、大半の学生が実際に取り組んでいた。しかしながら、それをしていない少数の学生が授業の進度を遅らせたことに対して、他の学生からの非難があった。それが生じないように教員が手はずを講ずべきという提案—予習を示す写真を事前提出—を取り入れた。この取り組みは非常に効果があった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	採点対象者19名の成績は、A（秀）36.8%、B（優）26.3%、C（良）21.2%、E（不）10.5%、J（放）5.3%である。回答者12名の授業評価アンケートの到達度自己評価では、「（1）自分なりの目標を達成した」から「（10）職業選択の参考になった」までの10項目は、4～4.6の範囲内にあり、平均は4.31である。平均到達度自己評価の「（2）知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が、4.6で最高である。これにより知識・理解は達成できたと考える。「（9）職業倫理や行動規範について学ぶことができた」が、平均値4（中央値4）で最低であった。以上のことから全体を通して「やや達成された」と考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP/CPカリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性 ①1年生の前期の英語の必修科目である。英語が好きではない学生がいる中で、基本的英語能力を高めるためにも、入学最初の学期に当科目を置くことは、意味がある。例年入学時のオリエンテーション期間に行っている英語のブレースメントテストを二年ぶりに実施できた学年である。英語については高校の教育内容との接続学習的な意味合いもあり、基礎的英語力の足並みをそろえるためにも、この時期にこの科目を置くことはカリキュラムマップ上妥当である。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進め方とその向上について ①学生の自己評価の「学生の意見」には、4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として、「課題で十分だった」（2名）、「課題で満足した」（1名）。「何をすればいいのかわからなかった」（1名）ぐらいが、学生の意見である。確かに入学直後の学期に大学の授業に慣れる必要がある時期には、負担の大きな授業だったかもしれない。 ②授業アンケートの3. 授業の質評価では、5項目の平均は、4.32である。対面授業のメリットが明確に出た学生の評価だと理解している。理解度については担当教員への意見（3件）の二つは、感謝だったということが示される。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	総括的評価と来年度に向けての課題 成績が例年よりも、分散した。昨年度に教室外の学習の多読、E-learning ができなかった反省から、本年度はオリエンテーション、授業の初回をそれらの説明に当てた。やはり対面で資料を配布しての説明の効率性が効果をもたらした。①学習量の評価で「（1）授業に参加するために、1回30分程度の以上の準備をどのくらい行いましたか」に対しては、0回（1名）、6回（3回、11回）が7名である。「（2））授業に参加するために、1回30分程度の以上の復習をどのくらい行いましたか」に対しては、0回（1名）、6回（3回、11回）が5名である。このことから、12名の回答者は、予習中心の学習者が多いと言える。もう少し、準備と復習の時間を増やしてもらいたい。上記二つのアンケート項目に対して、0回が2人いたことが、授業の効率を悪くしている。ある学生は、このような学生対策に、次の提案をしている。テキストの予習を授業日前までに写真で送るなどしてもらおうと、みんな絶対すると思うので進みがよくなると思います。これは非常に貴重な意見だと受けとめたいとの前年度の学生の提案を取り入れた。そのおかげで、予習をする層は増えた。しかしながら、一名はどうしてもしなかった。次年度は誰もが実行可能な予習を課すことで、学習習慣を身につけさせたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎英語	1	前期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	最初の授業で学生に自己紹介を書かせたところ、英語が苦手だという学生がかなりいたため、授業では無理のない進度で進めるようにした。結局は、英語が苦手な学生を含めて、全学生がまじめに授業に取り組むようになった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	どちらともいえない	どちらともいえない				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	全員が真面目に授業に取り組んでいたが、成績という観点から見ると、「優」「秀」を取った学生は半数であった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	成績を見ると、知識や理解については十分と言えず、妥当であるかどうかは疑わしい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学生の授業態度が成績に結びついていないのは、担当者である私の科目指導に問題があると思われる。学生のコメントは楽しかったというものがいづつかあったが、この科目については、むしろきつかったというくらい学生を鍛える必要があるように考える。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	シラバスに書いている以上に、英語の多読教材を課したが、それは成績には反映されなかった。次の授業までに、私の授業方法の抜本的な改善をはかるように教育方法を検討したい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	Leaver Soren Eric

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
入門英会話	1	前期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	この授業では、英語を理解し、基礎的な文法を使って英語を話す練習に重点をおいておりました。学生は準備を十分にしておいて授業にのぞんでいました。学生の参加意欲は だいたいに置いて高かったですが、授業日によっては学習意欲が低い日もありました。英語を使って基礎的な会話を少人数のグループでする機会が授業のなかで多く取れたと思います。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	全体としてのトータルの成績、理解度において達成できたと思います。準備は良くできておりました。インターネットの利用も理解し、課題提出はよくできておりました。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学生同士で英語での会話に挑戦することで、会話の機会が多くなり、それぞれの実質的な理解度を深めることができました。また文法学習を行い、その後反復して会話を行うことで文法を体感して捉えることができる利点があり、CP上での位置づけは妥当だと考えます。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	今回の授業では、私の教え方は効果的でした。学生とのコミュニケーションもよくできていたと思います。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	このクラスの全体的な進行には満足しています。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初級英文講読	2	前期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	2年次の発展的な英語であり、かつ意欲の高い学生が受講すると思われるため、高いレベルを目指した授業計画を組み立てた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	授業評価アンケートの学生の記述を読んでも、授業がよく理解できたと書いた者が多かった。成績を見ても34名中26名が「秀」であった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学生の受講態度、成績、授業アンケートのコメントのいずれを見ても妥当であることを示している。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	対面授業の時には授業前後にも学生と接することで、そこでの会話をもとに授業を円滑に進めることができた。しかしながら、オンライン授業では学生の受講態度の把握が困難なため、今後はオンライン授業時の学生との接し方を検討したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	今回の授業では学生の成績が大変良かったことが、評価できる。今後も、学生が変わっても同じような成果が出るように心がけたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	村田 希巳子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初級英文講読	2	前期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	毎時間教科書を1課ずつ進むと決めていたので、予習を義務づけ、授業中に学習準備がなされているかチェックしたので、皆さん、しっかり予習をしてきてもらえた。さらに毎回そこに出てくる単語のテストを行ったので、理解度もかなり高くなったのではないかと思います。 学生も、これにしっかり取り組むのに時間を要した、と書いてあった。さらに苦手な学生さんが、この授業のために文法書も学習した、と書かれてあったので、とても嬉しかった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	単語のテストは、最初是要領がわからなかったようだが、だんだんちゃんと勉強してくれるようになった。単語のテストは、平均すると、10点満点で8、7点取れていた。この授業準備に忙しくて、他の英語の勉強は、出来なかった、と答えている人が多かった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講動機は、高いと思われたが、途中でオンラインになった時に、来なくなった学生がいたのが残念だった。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	1課ずつ進めるには、ちょうどよい難易度だったし、皆さん観光に関することだったので、集中度が高かった。遠隔授業も協力的だった。教務の方にもずいぶん助けられた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	予定通り進められたし、かぶりつきも良かったように思われる。ずっと対面だったら、もっと鍛えられるのに、プレゼンもしてもらえたのに、残念だった。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マルチメディア・イングリッシュ基礎	2	前期	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	遠隔授業。次の三つのプロセスを示した。1. 授業でE-LearningのCHleruのダイアログとモノログをE-Learningで行う。2.それについてのプリントを遠隔で配信して、それを次回授業までに調べておく。3. 次回授業でプリントの音読と課題を確認をする。学生は、1と3を授業で、2を授業前にするという規則的なパターンで学習習慣を身につけるようにさせた。2.で、プリントをしておくということで、学習準備ができていたことがどういうことであるかを確認した。授業評価アンケート（回答者21名）では、4. 学習量の評価では、「（1）授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどのくらい行いましたか」に対して、⑤6回（3回、11回）を選んだのが最多で、7名である。授業の質評価の「（2）期間内に行うべき学習の範囲や課題はあきらかであった」では、「④わりとそう思う」以上が、15名である。つまり回答者の約71%の学生が、望ましい授業準備をしたということになる。自由記述として、4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として、「課題に取り組んだから」（4名）である。このことは課題の妥当性が示されていると思う。受講動機としては、①必修科目である（85.7%）、④単位数を確保する（33.3%）は当然として、「②資格取得に必要である（14.3%」、③関心のある内容である（4.8%）と続く。最後に③が示すのは、インターネットを使い、英語学習をすることの効率性、一斉指導ではない個別学習の場面が多くあり、一人当たりの英語への接触時間が長く、学習効果が実感できているのではないと思う。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された			どちらともいえない	やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	4.学生の目標達成状況について 採点対象者は37名である。評価の根拠として成績を%で示す。本試験では、A（27）、B（27）、C(10.8)、D(24.3)、E（8.1）、J（2.7）となっている。再試験での合格者は3名であり、放棄者を除いては、全員がきちんと単位を獲得している。AとBで54%であり、全体を通して教育目標は大まかには達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	現在の2018年度開始のカリキュラムでは、1年次に加えて、2年次でも英語の必修科目を設けるということで、この科目が前のカリキュラムの1年次配置から2年次に移された。その4年目である。授業評価の自由記述では、「4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習」に対して、13名が「取り組んだ」と答えている。つまり授業以外の課題も自ら見つけて取り組んでいる。選択科目にその関連の英語科目があり、それを学生も意識していることがうかがえる。以上のことから英語の必修科目を2年前期に設けることの妥当性があると考ええる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学習の質評価の5項目は、平均値が3～3.6の範囲内にあった。学習量の評価では、「（1）授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどのくらい行いましたか」に対して、⑤2.3回（3回、11回）を選んだのが最多で、19名、「（2）授業を振り返るために、1回30分程度以上の復習をどのくらい行いましたか」に対して、③2, 3回（1回、3～6回）と④4,5回（2回、7～10回）がそれぞれ8名である。予習型の授業としてとらえられていたことがわかる。担当教員への意見として、7. 担当教員への意見が、八つあった。分類すると、1.課題提出方法の明確化、2.ペースを落とすようにとの要望、3.A、Bクラスの授業のやり方の違いがないようにとの要望（5名）、4.TOEIC対策を求める。5. 後期は担当者を変更する。6. 文法の説明への疑問でした。1.課題提出方法の明確化に対しては、一名だったが、わかるように繰り返し説明し、配信することとしたい。2.ペースを落とすようにとの要望については、そうしたいと思います。3.A、Bクラスの授業のやり方の違いがないようにとの要望にたいしては、解決策として、次年度は一人の教員が担当することになります。4.TOEIC対策を求めるに対しては、授業で問題を解くこと自体が対策であることを説明します。5. 後期は担当者を変更することについては、この授業の担当者だけで決めるのではなく、学科の判断をあおぐことになります。6.文法の説明への疑問に対しては、二つしかありません。徹底して説明する、あるいは説明をしないということです。おそらく後者の方が受講生に取って楽でしょうから、可能な限り文法用語を使わない文法の説明が必要かもしれません。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	次の3つをシラバスでは達成目標として示した。1、3については客観的に根拠を担保できるが、2.については評価が難しいが、最終試験の二種類のTOEIC型試験である程度は確認できた。3について、最後の課題として音読の提出物により確認した。 達成すべき行動目標 1 CHleruの1,300（学習）マイルを達成できる。これが評価割合「レポート外の提出物」として、20%になります。部分点はありません。 2 TOEIC の400 点レベルのリスニングができる。 3 基本的な母音と子音の聞き分けができ、その正確な発音ができる。 しかしながら、6月ぐらいから、大学二年生が最もストレスを受けているとのマスコミ報道が出始めたこともあり、遠隔授業の場合には端末を離れた学習も取り入れることを検討したい。次年度は一クラスとなる。クラス内での力の差が大きくなる可能性が予想される。それをE-Learningで個別学習の機会を多くすることで、何とかクラス全体の底上げを行える術を検討したい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	末廣 幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マルチメディア・イングリッシュ基礎	2	前期	必修	いいえ	41

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	E-learningのCHleruを教材として英語を多面的に学ぶことを目的にしている。マルチメディア教室で学生が各自、PCを使用して自分のスピードで学習できることに大きな利点がある。特に各自の能力にあったスピードで学習が繰り返しできることから、学生一人一人のリスニングの向上と発音の上達を目標としている。具体的にはTOEICの400点レベルのリスニングができ、さらに基本的な母音と子音の聞き分けができ、その正確な発音ができること。またディスプレイを見ながら、ブラインドタッチでの基礎的な入力ができることを目標にしている。そのため学生各自のPC学習の監督には特に力を入れ、またリスニング問題のスク립トから文法問題を作成し、授業中に配布実施を行い、学生のリスニング問題への理解度を更に深められるように配慮している。前期はオンライン授業の関係で、マルチメディア教室での授業ができず、各自自宅のPC及び携帯を使用して学習を行った。当初は、教師も学生も戸惑う場面もあったが、本来CHleru中心の授業なので、結果としては通常授業形態と変わらない成果を上げることができた。問題点は、CHleru授業における学生一人一人の進行度を直接チェックする機会がなかったために、学生各自のペースに沿ったCHleru課題に取り組む時間調整をオンライン上で行う難しさがあった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績の平均値は82点であり、再試対象者は0名であった。必須科目のため、DPの評価において、大多数の学生が真剣に取り組んだことが推測される。特に「自分なりの目標を達成した」「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「的確に判断する力を得ることができた」「意欲を深めることができた」等を高く評価した学生が多かった。これらはCHleruの内容を繰り返し学習し、文法問題で内容を定着させることで、自分なりの目標を達成できたと実感した学生が大多数であったからだと考えられる。全体的に英語学習に対して前向きに努力する学生が多く、意欲的な雰囲気が形成されたようである。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性：リスニング力強化を目標に、TOEICや英検などのリスニング対策をあわせて行うことで、ツーリズムおよびビジネスの専門科目の体系的学習を可能とする効果を大多数の学生が体得できたと思われる。②DP行動目標からみでの内容的妥当性：DPの評価に関しては大多数の学生が各項目について高い評価を示していることから授業内容に納得していると考えられる。特に「職業倫理や行動規範について学ぶ」「職業選択の選択参考」の項目は、他科目及び他学科においては比較的低い評価を示す学生が多い中、本科目においては高評価を示している。前期から遠隔授業となり、慣れない学習環境にもかかわらず、真面目に英語学習に取り組んでいた。これは遠隔授業への積極性の高評価にも表れていた。以上のことから本科目の目的にかなっていると判断し、内容的妥当性には問題がないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	①授業の質評価：「テスト、レポート、提出物の評価基準」「学習の範囲や課題の明らかさ」は評価が高く、オリエンテーションでの説明と授業中での指示を理解していたと考えられる。「説明は理解しやすかった」も評価が高かった。また学生は各自のスピードで学習できる環境から、ゆとりある語学学習ができたことに満足感と達成感を感じていたと考えられる。②学習量の評価：CHleru 1 200マイル以上の達成を課題にしていたので、予習復習を兼ねて各自でリスニング問題に取り組んだことが、学習量の評価につながったと考えられる。③情報利用：シラバスを参考にした学生は約6割で、シラバスに沿って授業の計画を立てた学生は全体の3割にとどまった。対面授業と異なり、不慣れな遠隔授業に対する学習計画の立て方を指導する必要性を感じた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	E-learningのCHleruを教材として、PCで学習するメリットが最大限生かされ、これが学生の自己達成度が高い評価を示す結果となったと考えられる。また、リスニング練習を通して、学生各自が自身の弱点に気づき、改善点を模索するという効果も得られた。さらに多くのリスニング問題に挑戦する姿勢が学生一人一人に形成されていたこともプラスに作用したと考えられる。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	Marne Saddy

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中級英会話	2	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	This active learning course is divided into discussion and presentation based learning. Through active listening and reading comprehension activities, students have the opportunity to learn about relevant social issues which are currently being discussed on a global level. After gaining an understanding of an issue, students are guided through intermediate level discussion and information gathering activities, and learn key language to express individual opinions as well as respond and react to opposing opinions and conflicting ideas. Finally, students are encouraged to prepare and present on the specific topic using the language and knowledge they have acquired throughout the lesson.
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Assessment was based on attendance 10%, completion of weekly homework assignments 20%, online presentations 30%, unit quizzes 20% and a final test 20%. Final grades were mostly in the 60-80% range.					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	Students took advantage of helping and receiving help from other class members in small, private group settings. Good student dynamics help to create a positive and "safe" group atmosphere in which students could feel more comfortable taking risks when expressing themselves in English. This, in turn, contributed to a high level of participation and increased understanding of the material. With online studies, students were also encouraged to move outside of their usual cohort group to practice various forms of information gathering techniques which could be used with friends, family members and across-generations to gather ideas on the assigned topic. From this, students created original presentations which they practiced, presented and received feedback from the teacher. Due to the large number of students in the class, presentations were restricted to 2 minutes, thus limiting the depth and scope of topic research.
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	Online language acquisition and presentation classes can be especially difficult for both teachers and students. Teachers must pay attention to each student and ensure that they are actively involved and completing activities as requested. Students must communicate more efficiently and effectively with their teacher and classmates in order to confirm understanding or reach out for help. With small breakout rooms and strict attention, both teachers and students can be successful if diligent.
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	The teacher's strict attention to attendance taking as well as weekly grading and active monitoring of homework is an absolute necessity with online learning as some students need more teacher encouragement, reminding and pressure in order to keep up on assignments without the assistance of an in-class friend group. This requires and added commitment by the teacher outside of regular class time which can be difficult when attending to so many students, in a variety of classes at various universities. Time management skills, organizational skills, and teaching experience are key to achieving good outcomes.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
入門TOEIC演習	3	前期	選択	いいえ	63

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	科目名の通り、TOEICという英語検定試験を初めて受験する学生を念頭に置いた授業を心がけた。そのためTOEICの構成や問題について、学生が復習しやすいように詳細な解説がなされている教科書を選定した。受講人数が多かったため、授業中に全員に細かく対応することが不可能だったため、フォローアップを充実させる観点から、毎回の授業終了直後に、Classroomの「授業」へ解答・解説のファイルをアップロードした。また単なるスコアアップというテスト対策のような授業ではなく、TOEICで主に出题される単語が実務系である点に着目して、ビジネス英語にも言及し、学生が将来のキャリア形成の一助にもなるような授業を展開した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	どちらともいえない	どちらともいえない				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	DP1の知識理解に関しては、中間試験の平均点が、30点満点中20.8と概ね良好な結果が得られた。定期試験については、50点満点中32.4であった。特に定期試験については、中間と比べて受講者間で得点差が大きかった。また数名の受講生が欠席過多によって低得点のため、結果として単位修得に至らなかった。達成できた受講生とそうでない学生が混在しているため、本科目における達成状況はどちらともいえないという結論に至った。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学習到達度の自己評価においては、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、という設問に対して、全員が「そうだと思う」を選択している点などから、内容的妥当性は確保されていると考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	昨年度同様、今年もコロナ禍による遠隔授業だったが、昨年は初回から授業展開に失敗したが、今年は開講時から概ねスムーズに導入することができた。対面授業と異なり、遠隔授業では学生の通信環境に差異が生じることがあったため、重要事項を何度か説明したが、すべての学生と円滑なコミュニケーションが取れたかという点については、やや疑問の余地があり、今後の課題である。また受講人数が多かったため、必ず毎回1人に1回指名するという目標を掲げていたが、それにこだわりすぎて、授業を円滑に終了させることができなかった回があった。あらためて授業運営の難しさを痛感した。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	到達度自己評価における(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、という評価項目に対して、全員が「そうだと思う」を選択しており、TOEICにまずは慣れ親しむという入門レベルの目標は達成できたと思われる。実際、自由記述においても、「英語力を高める事が出来た」など好意的なコメントが書かれていた点からもそれが裏付けられた結果になったと考えている。今後の課題としては、対面・遠隔にかかわらず、まずは受講生1人1人とのコミュニケーションを取ることである。そのためには各自の英語力を早い段階で把握し、それぞれの能力や特性に応じた対応をすることが必要である。遠隔の利点を生かして、質問や疑問点などは気軽にメールでたずねるように伝えていたが、学期中に授業に関する問い合わせは1件しかなかった。1度のみならず、必要に応じて何度も学生に促すことを継続しなければならぬと痛感した。来年度の授業では、こうした点についての改善を図っていきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
入門英語通訳ガイド演習	3	前期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	The first term course focused on providing Tourism Department students with an opportunity to improve their ability to translate Japanese culture for tourists and anyone else interested in learning about Japanese culture. We used the textbook "This Is Japan" (Macmillan), which focuses on traditional aspects of Japanese culture through the experiences of an exchange student and a home stay family.
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Students were assessed on passive participation, weekly class tasks, and presentations (80%) and a final assessment (20%). Student scores were well-balanced from the 60s through the 90s.					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	The skills being practiced were both practical and useful. The average student took the opportunity to improve their skill set.
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	Goals for the next academic year will be to integrate the huge amount of additional blended learning materials created over the past year and a half. New approaches and skills were required to successfully plan, distribute, monitor and collect the productive output of the students. This was achieved while also accurately tracking and assessing every single student up to the usual standards under the extremely difficult circumstances of the COVID-19 pandemic. I am very proud of what has been achieved the past year and a half on behalf of the students.
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	The workload this term was easily double that of a usual term, but the results of the work have been remarkably successful. I look forward to returning to face-to-face classes after working so hard to maintain the academic standards of the university under such extreme circumstances.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
入門中国語会話	1	前期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1.1年生を対象とする授業である。ほぼ全員が中国語学習初心者なので、中国語の特徴や学習方法を説明する必要がある。まず中国語の発音、基本文法の学習、会話の練習を通して中国語の話し方、週間の表現などの特徴を理解し、応用能力を身に付けてもらう。更に中国語に対する理解を深めるために、中国の歴史、文化、中国の事情等を適宜に紹介する。 2. 学習者の学習への意欲をたかめ、学習状況を確認するため、ユニットごとに確認テストを行う。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は91点であり、再試対象は0名であった。全員（13名）が理想的レベルに達したのである。 学生による授業評価においては、「知識を確認、修正したい、新た得ることができる観点での自己評価にかなりそうだと思う」、「新しい知識を身につけたと考えられる」、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意識を持つことができた」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」においては5.0と高かったので、中国語コミュニケーション力や表現力が高かった技能表現に達している。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付けからの内容的妥当性 本科目は「専門教育科目」であるが、内容的に妥当であるとする。 更に異文化、多言語の領域でもあるが内容的には妥当であったとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては 「テスト、レポート提出物など評価基準は明らかであった」「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生参加する機会が作られていた」「口頭、文書等で学生の質問を受け付け、答える機会が作られていた」については5.0と高く示されていた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	専門教育科目の位置付けから、入門会話なので、基礎的知識を概ね身に付けているが、次の中国語の授業を引き続いて指導する予定である。 学生に中国語の総合能力を身に付けてもらうために、日記などを書いてもらっている。次年度により綿密に実施することを行いたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
実用中国語会話	1	前期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	1. 実用中国語会話の概要及び達成すべき目標とは、「正確に現代標準中国語の発音を習得する。基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。中国語の学びを通して、中国の文化や風習などを知る」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の40.0%を除いて、③「関心のある内容である」は100%であった。このことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。 2. 受講人数が6名で、語学の初級としては妥当と思います。学生一人一人に対して指導ができます。 3. 「教員とのコミュニケーションが取れる」という学生の意見から、今学期は事情により、Meetの遠隔授業を行うことになりました。画面を通して学生たちが積極的に参加しました。ただし、対面授業と比べて、不足部分もあります。今後の授業において、できる限り学生一人一人と会話できる場面や機会を増やしていくことを工夫したい。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	1. A評価は2名、B評価は2名、C評価は1名、E評価は1名であり、最終的な成績の平均値は「85.2点」であった。標準的レベルを超えて、理想的なレベル（遠隔の定期試験及び平常点の総合として80点以上）に達していた。 2. （DP-1）の知識理解、（DP-5）の技能表現をみると、将来の地域社会を支えるための基本的知識、つまり国際社会で人と自由に会話を交わすことができる能力を初歩的に習得していた。 3. 学生による授業評価においては、授業に参加するために、1回30分程度で週3回の復習を行っていた。また、授業の記録作成にも自分なりのノートを作成したという成果が見られた。4. 自発的学習については、中国語の動画アプリやネットで関心のある内容を自ら調べて学習しているため評価しています。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学生の学習到達度評価をみると、①「自分なりの目標を達成した」は平均点3.4点、②「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均点4.2点、③「専門分野について、深めたい意欲を持つことができる」は4.2点であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	1. 「授業の質の評価」について、值的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。 2. 「授業の量」については授業外の学習は週に2回ほどが半数以上です。このままの状態を維持し続けてほしいです。 3. 「図書館やインターネット等の利用」は、遠隔授業の影響で、インターネットの学習がかなり利用したことが見られて、良い結果であります。授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることをもっと学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	1. 実用中国語会話は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。 2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れていきたい。 3. 授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を、身につけられるよう、養成していきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎中国語	2	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	基礎中国語は中国語基礎知識を有する学生を対象する勉強の継続性を考え、やや高いレベルの中国語の文法や実用的な中国語力を身に付けることを目的とする授業である。更に中国の社会文化を適宜に紹介し、中国語の学習には相乗効果を期待する。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は87点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的なレベルに達したが、理想的なレベルに達したのは70%となった。学習の到達度自己評価において、「自分なりの目標を達成した」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身に付けることができた」は平均で4.0でやや低かった。「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「テスト、レポート提出物などの評価基準は明らかであった」「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」などは5.0と高かった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置付けについて マップ上の位置付けから見て、本科目は専門教育科目であり、中国語の通訳ガイド演習案内士などの資格試験に対応する科目である。学習者の総合的な視野と専門分野の理解に応えるから、内容的妥当性は問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	本科目は専門教育科目である。次のツーリズム中国語や中国語通訳ガイド演習につながる科目なので、基礎的な語学力を身に付けることが必要である。授業の質評価の項目において5.0と高かった。今年度の教科書はやや難しかったため、次年度は教科書選定を見直したうえで、学生に事前に予習、授業後の復習を徹底的にするよう促したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	専門教育科目にあたる本科目の位置付けから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、表現技術の面では、課題を残し、じっくり復習時間及び課題の提出などで改善を図りたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中級中国語	2	前期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	中級中国語はすぐに役立つ生活場面の会話文を学習する科目である。入門中国語会話、初級中国語会話で学んできた基礎知識を復習しながら会話文を中心に進め、また、基礎的な中国語の総合的な能力を高めるためにできるだけ会話の練習をさせて学習者に自信を持たせるようにしている。更に文法の理解を確認するために、中国語で日記を書いてもらったり、長文を作成させた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は89点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達した。理想的レベル（概ね90点以上として試験を作成）に達したものは19名となった。目標別にみると、知識理解、技能表現に関して78%であった。学生による評価においては、授業評価に参加する学生が5人しかいなかった。関心度が低くなっていると理解する。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置付けから見て、内容的妥当性には問題ないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の評価においては「自分なりの目標を達成した」は平均値4.0と低かったが「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が平均値5.0と高かった。授業の質評価「説明は理解しやすいものであった」が平均値4.0と低かったが、「授業中に、自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」「口頭、文書等、何等かの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」が平均値5.0と高かった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	基礎的な知識だけでなく、応用能力を高めるために毎回の狙いを具体的に示すことである。可能な限り会話練習をとる時間を心かけている。じっくり文法の修正を加える時間がなかったため、授業中に練習と予習課題の提示などで改善を図りたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
応用中国語	3	前期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①本科目は中国語の応用力を鍛え、聞く、話す、読む、書く、訳す能力を高めることを目的とします。学習者は中国語の初級知識を有しているが、単語量はまだ豊富ではなく、既習知識を上手に応用できない状況にあると考えられる。受講動機は「関心のある内容である」が69%であったことから、一部の学習者が中国語学習に関心が低くなっていることが分かります。授業の実施にあたり大切にしていたことは学習者を授業の主体とすることです。学習者にしっかり予習して、授業では予習した内容を発表し、授業後はしっかり復習するという学習習慣を身に付けさせ、小テストで学習効果を確かめる。学生が分かる、できる、つながるを感じながらレベルアップできるようにすることに重点を置いた。 ②開講時に学習目標や、学習方法、評価方法を明示し、また、毎回の授業に授業スケジュール、予習・復習の内容を明示した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	大多数の学生は毎回の授業に真剣に取り組み、優秀な成績（総合評価の平均点は87点であった）を収めたことから上記のように評価した。また、学生による到達度自己評価において、（1）～（10）の10項目の中央値はすべて4.0であったことから上記の評価は適切であったと言えます。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容の妥当性 本科目は「総合人間科学」に属する選択科目であるが、観光文化学科の「専門教育科目――中国語通訳ガイド演習や観光中国語など」と関連性を持つ重要な位置にある。学生により学習習慣を身に付けさせ、中国語学習において、分かる、できる、つながるという喜びを実感してもらうことが最も重要だと考えて授業を進めた。大多数の学生が優秀な成績を収めたことから、内容的には妥当であったと考えられます。 ②DP、行動目標からみての内容的妥当性 「学習到達度の自己評価」において、（1）～（10）の10項目の中央値がすべて4.0であることから、内容的には妥当であったと考えられます。 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われます。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	常に学生の学習状況を確認し、無理のないように授業を進めておりました。 「授業の質の評価」は5項目の平均値は4.3であることから授業の進め方は大多数の学生に合っていた、適切であったと言えます。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「授業の質評価」5項目の平均値はすべて4.3であることなど総括的に一定の授業効果が得られたと評価する。 遠隔授業しかも多数のクラスでは如何にしてすべての学習者に同等程度の授業効果が得られるかが課題です。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語通訳ガイド演習	4	前期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	専門教育科目にあたる中国語通訳ガイド演習は観光文化学科における教育骨格となる分野の習得を深める科目である。中国語通訳ガイド演習の力の養成に重点を置く。具体的には中国語通訳の基本的技術を学習した上に、基礎的な理解能力、表現能力、翻訳技能の養成を目指した科目である。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は81点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（90点設定）に達したのは63%となった。学習による授業においては、授業内で理解できた、資格取得の勉強ができたという評価であった。コミュニケーション力や表現力は高めることができたの平均5.0と高かった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置付けについて マップ上の位置付けから見て、本科目は専門教育科目であり、中国語通訳案内士等の資格試験に対応する科目である。学習者の総合的な視野と専門分野の理解に込えているため、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価においては「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均4.0と「説明は理解しやすいものであった」の平均は4.0とやや低かった。次年度は練習量と課題の技術能力を向上させることを改善目標としたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目は専門教育科目の位置付けから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、表現技術の面では課題を残し、復習時間が少なかったため、次年度は改善を図りたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
アジア文化交流研修 B	1	前期	選択	はい	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	①受講動機をみると「関心のある内容である」79.7%、「単位数を確保する」57.6%(観光文化学科の人気科目なので、履修者は多かった)。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目に小テスト(レポート作成と発表)を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は87.3点であり、再試対象は0名であった。全員が目標のレベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては98.3%、意欲関心に関しては93.2%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している(上海で研修を行う予定だったが、コロナウイルス感染防止のため、京都での実施に変更したがコロナが終息されていないとの理由で中止された。教育目標の実現に影響があったと言わざるを得ない)。 学生による授業評価においては、知識理解、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館、インターネットの利用に関しては、それぞれ、1.7%、74.6%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみての内容的妥当性 成績評価から知識理解、意欲関心に関する達成度が割に高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 本科目は「アジア文化交流研修B」であるが、「海外留学・仕事・国際交流」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	コロナウイルス感染防止のため、予定の上海研修を京都での実施に変更させられたが授業の質評価において、評価が良かった。2023年度（上海での研修を行われる予定）に向けては、学生がもっと積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「海外留学・仕事・国際交流」をつなぐ要の位置にある「アジア文化交流研修B」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、意欲関心を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
比較文化論	1	前期	選択	いいえ	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	入学したばかりの学生が多く履修することが予想されたため、観光文化学科に入ってよかったと思われるような、知的で楽しい授業をするように心掛けた。授業評価アンケートでは数名の学生から感謝の言葉があり、結果として良かったと思われる。否定的なコメントはなかった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された			達成された	達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	35名の受講生のうち20名が「秀」の成績であった。授業態度は極めてよく、質問も積極的に出ていた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	受講生の成績を見ても、受講態度を見ても、妥当であると思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業評価アンケートのコメントを読んでも、自宅で復習をしていないと回答したのがいくつか見られた。授業内容については確かに復習の必要はないが、学生が授業を通して科目内容に興味を持ってさらに発展学習を促すようにしたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	履修生のほとんどが高い成績を残している。その点は非常に良かった。しかし、残念ながら、来年度はこの科目を担当しないため、次に生かすことはできない。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
アジア観光文化地理Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機をみると「関心のある内容である」80.6%、「単位数を確保する」63.9%となっております。もっと学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 ②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は87.6点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては100%、技能表現に関する問題は95.2%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。 図書館から利用できる学術データベースを検索し、利用した学生は0.28%で、インターネットの利用に関しては、38.8%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、技能表現に関する達成度が割に高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「アジア観光文化地理Ⅰ」であるが、「海外研修」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であるとする。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、評価が良かった。「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」97.2%、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」88.8%、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が94.4%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「海外研修」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化地理Ⅰ」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、技能表現を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
インターンシップ	3	前期	選択	いいえ	59

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「キャリア教育科目」に位置づけられており、大学卒業後のキャリア形成を考える機会となっている。受講動機をみると、「関心のある内容である」と答えた学生が91.7%と高く、本科目に対する学生の期待の高さが窺える。そこで、授業回の前半はさまざまな業界について、その実状や課題について丁寧に説明し、授業回の後半は企業のインターンシップに実際に参加することで各自のキャリア形成を考える貴重な機会を得ることができる。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	DP2～DP5の平均値がすべて4.1以上となっていることを根拠に挙げることができる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目はキャリア教育科目であり、将来のキャリア形成を考える上で貴重な機会となる性格を有している。2年次後期におこなわれる「キャリアデザイン論Ⅰ」に引き続き、3年次前期におこなわれる科目であることから、内容的には妥当であるとする。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：キャリア教育科目であるから「知識・理解」以外のすべてのDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であるとする。③以上より、内容的妥当性は問題はないとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	アンケートの自由記述をみると、授業回の前半では数多くの業界についてその実状や課題について丁寧に説明したことが、各自のキャリア形成につながったものと考えられる。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	教育の質評価において「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が与えられていた」という項目のみ4.2となったほかはすべて4.3以上となったことから、教育目標は達成したと考えている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネス演習	2	前期	必修	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「演習・研究科目」に位置づけられており、2年次前期に必修として配当されている。本科目はどのような業界に就職するとしても、ビジネス上必要なマナー、キャリア形成、クレーム処理、労働に関する法律、財務諸表の基礎などを学ぶ機会となることから、具体的事例を踏まえながらわかりやすく丁寧な授業をおこなっている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	到達度自己評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」という項目の平均値が3.9となった以外は、総じて平均値が4.2以上となっていることから、教育目標は達成されたと考えている。また学生による担当教員への意見についても「社会のマナーを知ることができてよかった」等の意見が多いことも根拠として挙げるができる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は「演習・研究科目」であり、ビジネス上必要となる基礎知識を習得する貴重な機会を提供している。1年次後期におこなわれる「ツーリズム演習」を観光系の演習科目として位置づけるならば、2年次前期におこなわれる本科目は、ビジネス系の演習科目として捉えることができるため、内容的には妥当であると考ええる。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：演習・研究科目であるから、すべてのDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であると考ええる。③以上より、内容的妥当性は問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	本科目はビジネス上必要なビジネスマナー、キャリア形成、クレーム処理、労働に関する法律、財務諸表の基礎などを学ぶ貴重な機会となることから、できるだけ具体的事例を踏まえながらわかりやすく丁寧に毎回の授業をおこなっている。その結果、授業の質評価においては、平均値が4.0～4.6と高い評価となった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目はビジネス上必要なビジネスマナー、キャリア形成、クレーム処理、労働に関する法律、財務諸表の基礎などを学ぶ貴重な機会となっているが、「コミュニケーション力や表現力を高める」工夫については、学生に発表の機会を設けるなど次年度以降検討したいと考えている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	オンライン授業では課題解決につながるような活動ができなくなるため、それを補えるような教材を事前に見つけておき、利用した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	2年次まで欠席がちだった学生もこの授業にはきちんと出席していた。成績を見ても、全員が「優」以上であった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学生たちはオンライン授業の最中でも、モチベーションを下げることなく、一生懸命に授業に取組み、成果を挙げており、妥当であると思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	オンライン授業の時に、自宅内のできる活動についてもっとアイデアを考えなければならない。再度、オンライン授業になった時のために、今からアイデアを出すようにしておきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	オンライン授業という方法が科目の内容にそぐわないため、それを打開できるように、私自身が授業の取組のアイデアを練らなければならないと思う。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講生7名の授業であり、その少人数授業のメリットをいかして、全体指導と個別指導を組み合わせた指導をした。昨年度より専門演習Ⅰ（前期）、専門演習Ⅱ（後期）に二分された。内容が半分になったことではなく、半期で学習成果を出すということで、学習目標を最初に説明して、学生の学習準備性を高めるようにした。アンケート（回答者3名）の4. 学習量の評価では、2名が⑤6回（3回、11回）を選んでいる。復習については、①0回が1名いる。予習重視の受講姿勢である。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	やや達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	4. 学生の目標達成状況について A（57.1%）、B（42.9%）であり、十分な学習がなされたと考える。学生の自由記述では、4. 学習量の評価（4）授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習として、新聞を読むようになったが1名である。最終的な課題に、論文を読んで、テキスト（知へのステップ）の枠組みでの分析をレポート提出させた。ここで目標が達成されたことを確認している。「学習到達度の自己評価」の平均値は3.96であり、「(6)自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」が、3.3で最も低かった。最も高かったのは、「(2)知識を確認・修正したり、新たに得ることができた」、「(3)事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた」、「(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた」、「(9)職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)について学ぶことができた」の4項目の4.3だった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	1年後期（ツーリズム演習）から、4年生の卒業研究（通年）までの演習・研究科目の一連の流れにある科目である。ゼミの目標を提示して、学生が選択できる科目であり、学生の適性がCP上で更に伸ばせるように工夫をした。学習到達度の自己評価の10項目は平均3.96。4年次に卒業論文を書くことができるように、また社会人基礎力を要請するためにも、基礎的な言語能力、知識の枠組みを広げるためにも、3年前期にこの科目を設けることは妥当だと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	対面授業であり、少人数であり、学生のプレゼンテーション、ディスカッションを取り入れることで、全員参加型の時間を増やすことで、社会人基礎力の一つである、コミュニケーションスキルを高めることができた。授業の進め方については、特に学生の意見はない。「学習量の評価」（４）授業の課題以外に具体的に組み込んだ学習については、1.授業で知らなかった言葉の意味を調べた。2. この授業に関連するものや新聞を読むことやニュースなどを読むことにしたの2件がある。授業で、「スマホより、新聞雑誌を読むこと」と言い続けており、その成果と思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	7. 総括的評価と来年度に向けての課題 7名の受講生全員が非常に誠実に学習に取り組んでいる。非常に素晴らしい学習集団ができている。構成メンバーがややおとなしい人が多いので、誰もがリーダーになれるようにいろいろな機会を設けて、活躍してもらい、自信をつけてもらい、キャリア選択に臨めるような場になるようにしたい。出席についても一人の取りこぼしがないように、授業外の個別指導を含めて、残り1年半の学習活動（ゼミ）を有意義なものとしてもらえるように、きめの細かい取り組みをしていきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	専門演習Ⅰは4年生の卒論研究教育への円滑に行うために研究演習教育として位置づけ、まず視野を広げ、判断力、分析力の学習方法を身に付けてもらう授業である。ゼミに所属して専門的に学ぶ。「研究」「多読」「レポート作成」「文献の探し方」「プレゼンテーション」「発表」などの繰り返しの練習により実践的な力を身に付けることを目指す。学習準備の状況の確認調査を実施した。学習者の関心事を再度確認した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象者は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね90点以上）に達したものは4名となった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容的妥当性、本科目は専門演習科目である。卒業研究をつなぐ要に位置にあり、必修科目である。内容的に妥当であるとする。学習者が積極的に課題を考え、問題を志向判断として何を論述するかが確実把握できたことから成績は上昇したことも内容的には、妥当であったとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が5, 0となった。説明は理解しやすくものであった」の平均は4.0と低かった。なお図書館利用においては、「この授業では図書館の図書、雑誌を利用した」の項目は基本的に利用しなかった。今後できる限り図書館に利用習慣を付けていくように促したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	専門演習Ⅰは専門的知識の形成、判断力、分析力、実践力の養成については概ね達成できたが、ゼミの担任として常に連絡し指導をしっかりする必要がある。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機をみると「必修科目である」90.0%「関心のある内容である」と「単位数を確保する」それぞれ20.0%、10.0%となっている。履修者が「専門演習Ⅰ」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないことが分かる。シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。 ②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。 ③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。 ④月に1回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は92.8点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。 目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関する問題は90.0%、意欲関心に関する問題は100%、態度に関する問題は90.0%、技術表現に関しては、90.0%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。 学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。 図書館の利用に関しては、60%、学術データベースの検索・利用に関しては、70%、インターネットの利用に関しては、100%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門演習Ⅰ」であるが、「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価において、各項目については、評価は良かった。特に「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文章等、何らかの形で学生の質問を受付、それに答える機会が作られていた」の評価は100%で良かった。次年度に向けては、学生がもっと積極的に参加できる機会・環境を作っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「専門演習Ⅱ」、「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	オンライン・対面のハイブリッド授業ということもあり、文献輪読を中心にマーケティング、広告宣伝、メディアの理解を通してマーケティングマインドの醸成と4年次の卒業研究へのステップとして学生自身が計画を立案できる授業構成および就職活動準備指導に重点を置いた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質の項目については各項目について中央値以上の数値が認められるため達成されたと評価する。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質など項目について概ね中央値であるため内容的妥当性はあると評価する。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	課題であった就職活動指導とマーケティング理論と実践活動の時間的配分は事前にオリエンテーションを行なったが、実践活動について社会人との調整交渉に予定外の時間を費やさざるを得ないケースがあった。社会人との議論調整によりこの課題を解決したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	グループワークなど授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入を考えているが、就職活動にも資するようなディスカッションを取り入れ、さらなるコミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「演習・研究科目」に位置づけられており、3年次前期に必修科目として配当されている。科目名にあるように本科目は学生のこれまでの学習の関連性を踏まえながら、より深い知識、思考力を身に付けられるように丁寧に授業をおこなっている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	到達度自己評価の平均値が総じて3.5以上となっていることから、教育目標はやや達成されたと考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は「演習・研究科目」であり、4年次に「卒業論文」を執筆するため必要となる基礎知識を習得し、またその素養を高める貴重な機会を提供しているため内容的には妥当であると考え。②DP、行動目標からみる内容的妥当性：演習・研究科目であるから、すべてのDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であると考え。③以上より、内容的妥当性は問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	本科目の授業は前半はグループディスカッション、後半は観光トピックスを取り挙げて議論した。1～2年次の演習・研究科目と卒業論文の執筆との間に位置づけられている本科目は、これらの繋ぎの科目としての役割があるが、到達度自己評価が予想より低かったため、今後どのような内容であれば学習上効果的か、次年度に向け検討したいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業の質評価により教育目標はやや達成されたと考えているが、到達度自己評価が予想より低かったため、今後どのような内容であれば学習上効果的か、次年度に向け検討したいと考えている。